

仕上げ積算取り扱い説明書

「松助くん」
仕上げ積算

もくじ

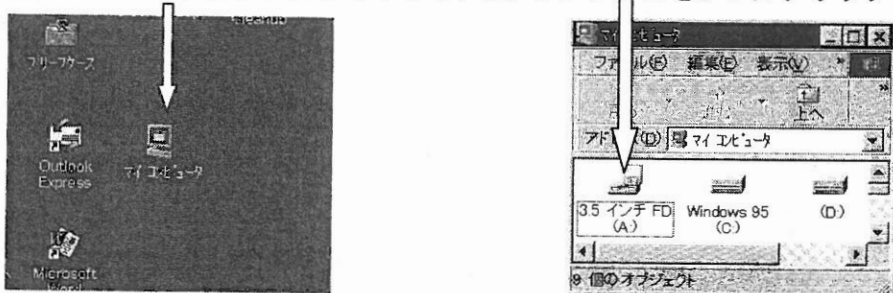
- 1p. インストール（フロッピーディスクからのインストール）
- 2 p. インストール（インターネット・メールからのインストール）
- 3 p. インストール（インストール終了直後の操作）
- 4 p. 起動の準備（デスクトップに仕上げ積算のショートカットを作る）
- 5 p. 修正プログラムのインストール（フロッピーディスクからのインストール）
- 6 p. 修正プログラムのインストール（電子メールからのインストール）
- 7 p. 起動・プロテクトの解除
- 8 p 仕上げ積算の起動・データフォルダの作成
- 9 p 仕上げ積算の起動・積算物件選択
- 10p 仕上げ積算の起動・マスターデータ決定
- 11 p.メインメニューの説明
- 12 p 操作説明……基本操作の説明その1（マウスとキーボード・[Enter]・テキスト Box・コンボ Box）
- 13 p 操作説明……基本操作の説明その2（[ESC]・[Delete]・[insert]・[Home]・[End]・[Shift] キー
- 14 p 操作説明……建具データ設定
- 15 p 操作説明……仕上げ計算書仕上げ積算書画面
- 16 p 操作説明……仕上げ計算書階名・部屋名・倍数
- 17 p 操作説明……仕上げ計算書積算科目選択画面
- 18 p 操作説明……仕上げ計算書積算細目選択画面
- 19 p 操作説明……仕上げ計算書積算細目選択・計算式入力
- 20 p 操作説明……仕上げ計算書備考欄・差し引き計算（▲）
- 21 p 操作説明……仕上げ計算書計算結果
- 22 p 操作説明……仕上げ計算書次のブロック
- 23 p 操作説明……仕上げ計算書参照画面からのコピー
- 24 p 操作説明……仕上げ計算書マスターにない細目
- 25 p 操作説明……仕上げ計算書データの挿入
- 26 p 操作説明……仕上げ計算書新規マスターデータの登録
- 27 p 操作説明……仕上げ計算書積層細目ブロックの呼び出し
- 28 p 操作説明……仕上げ集計表 1 次集計表
- 29 p 操作説明……仕上げ集計表
- 29 p 操作説明……仕上げ集計表 1 次集計表の統合
- 30 p 操作説明……仕上げ集計表 2 次集計表

インストール (フロッピーディスクからのインストール)

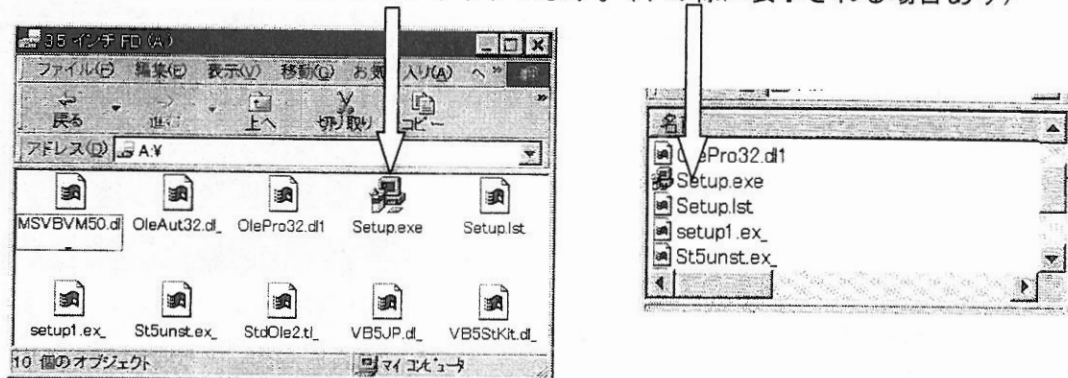
(1) フロッピーディスクからのインストール

仕上げ積算「松助くん」には4枚のフロッピーディスクが添付されています。プログラム本体のインストールには「仕上積算セットアップディスク①、②、③」を使用します。

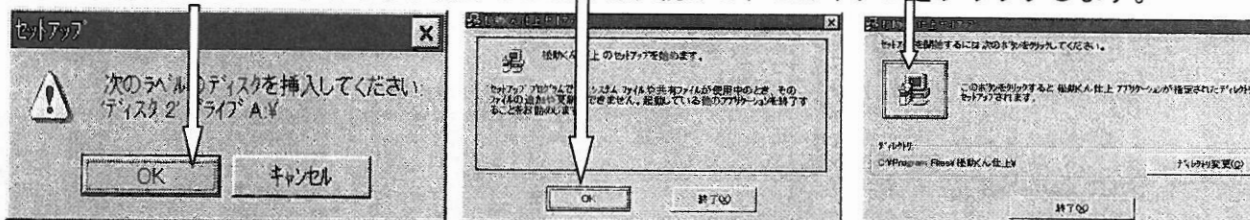
1. 仕上積算セットアップディスク①をフロッピーディスクドライブにセット、デスクトップのマイコンピュータをダブルクリックし、3.5 インチFDをダブルクリックします。



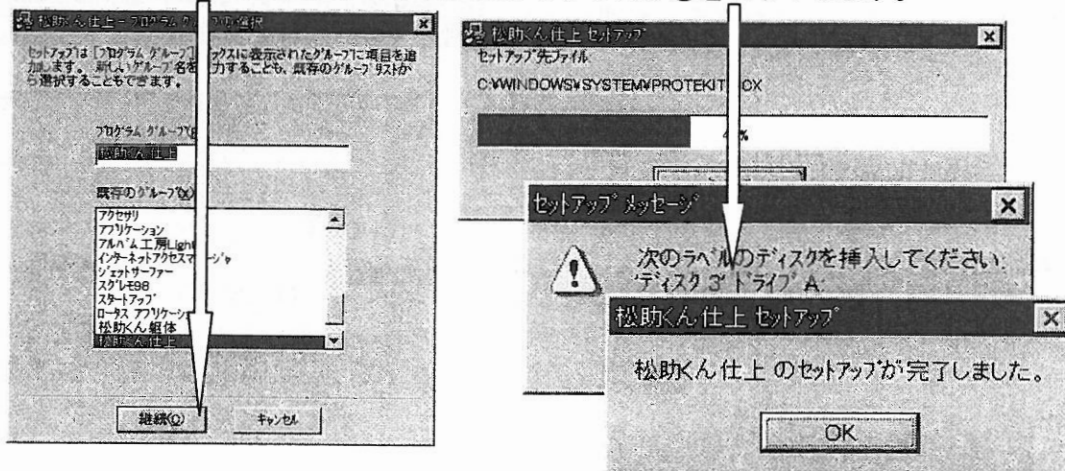
2. 次に下の [Setup.exe] をダブルクリックします。(下の様に表示される場合あり)



3. ディスク②をセットしOKクリック、続けてOKクリック、続けて、このボタンをクリックします。



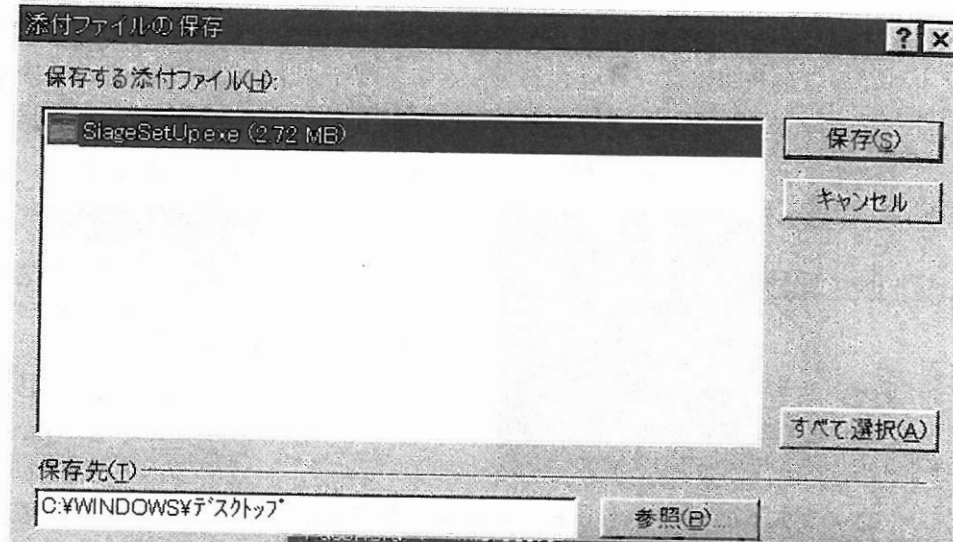
4. 下の画面が出たら [継続] をクリックし、続けてディスク③をセットします。



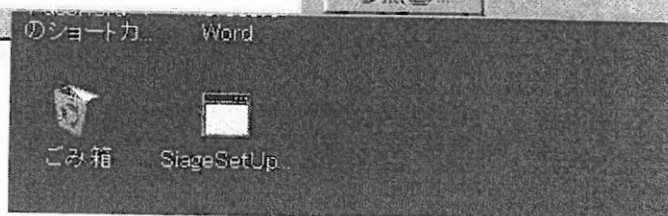
インストール (インターネット・メールからのインストール)

(2) インターネット・メールからのインストール

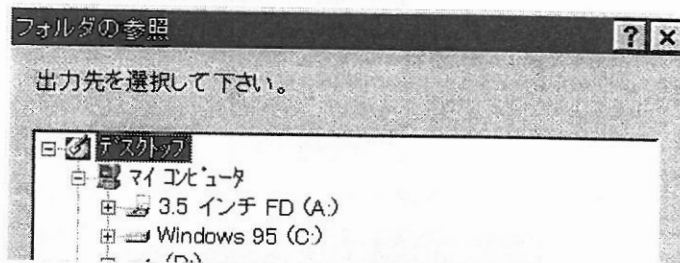
仕上げ積算「松助くん」を、
適当なフォルダ
(デスクトップ
など)にダウン
ロードします。



ダウンロードファイル
は圧縮されています。デスクトップのアイ
コンをダブルクリックし、

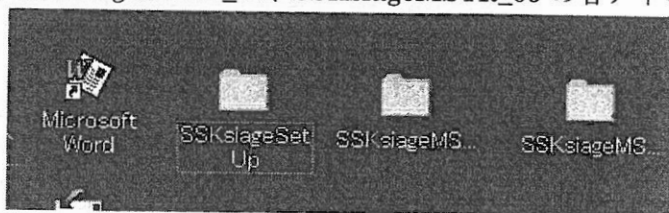


出力先を再びデスクトップにします。
自己解凍ツールが起動し

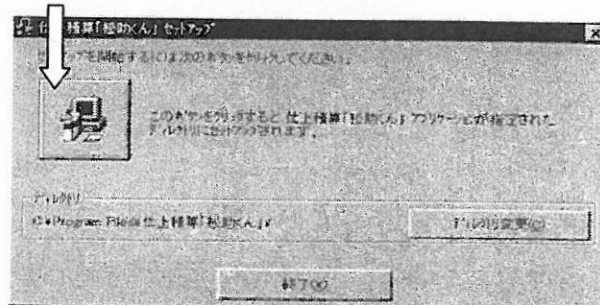


Windows のデスクトップに SSKsiageSetUp、SSKsiageMSTR_01、SSKsiageMSTR_09 の各アイ
コンが表示されます。セットアップファイルは
SSKsiageSetUp です。

SSKsiageSetUp.Ex をダブルクリックします。
自動的にセットアッププログラムが開始され
ます、途中でこのボタンをクリックして下さい。



残りの SSKsiageMSTR01 と SSKsiageMSTR09 は
仕上げ積算のマスターデータです。
SSKsiageMSTR01 は 公 共 工 事 の、
SSKsiageMSTR09 は「松助くん」付属マスターで
す。これら2つもセットアップします。

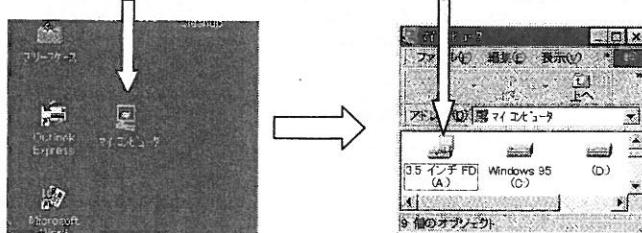


インストール インストール終了直後の操作

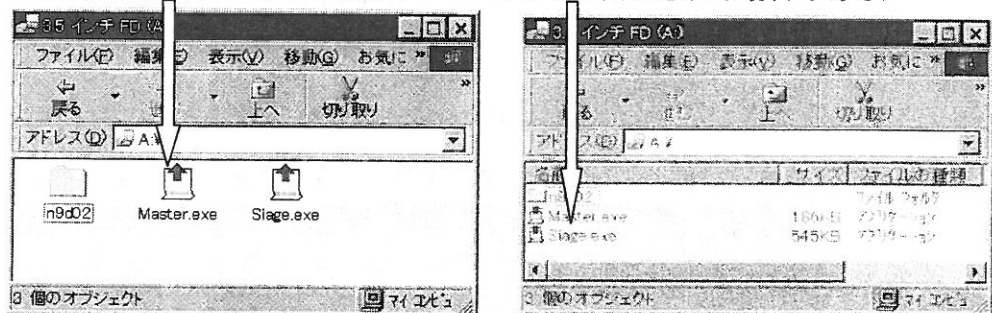
添付しているフロッピーディスクの4枚目に本システムで使うマスタディスクが格納されています。本システムでは9種類のマスタを使うことができます。今回の添付マスタは1番目と9番目にセットされます。

1. ディスク④をフロッピーディスクドライブにセット、

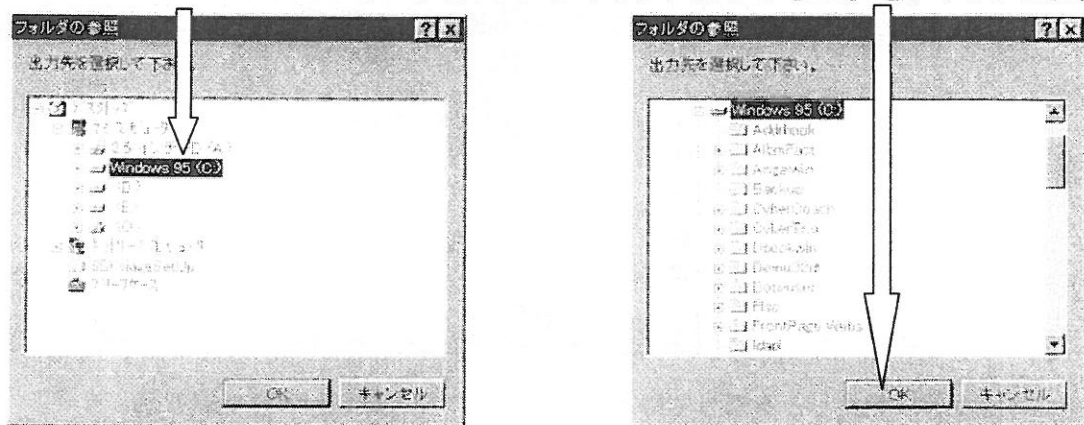
デスクトップのマイコンピュータをダブルクリックし、3.5 インチFDをダブルクリックします。



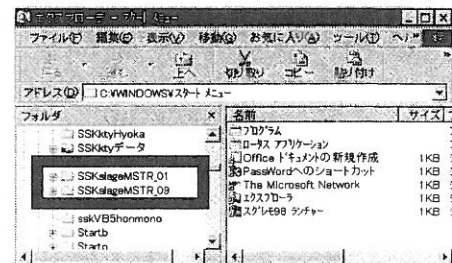
2. 次に下の [Master.exe] をダブルクリックします。(下のように表示される場合もある)



3. 保存先として Windows のメインフォルダをダブルクリック、続けて [OK] をクリックします。



4. エクスプローラで Windows のメインフォルダに SSKsiageMSTR_01 と SSKsiageMSTR_09 のフォルダがあることを確認して下さい。



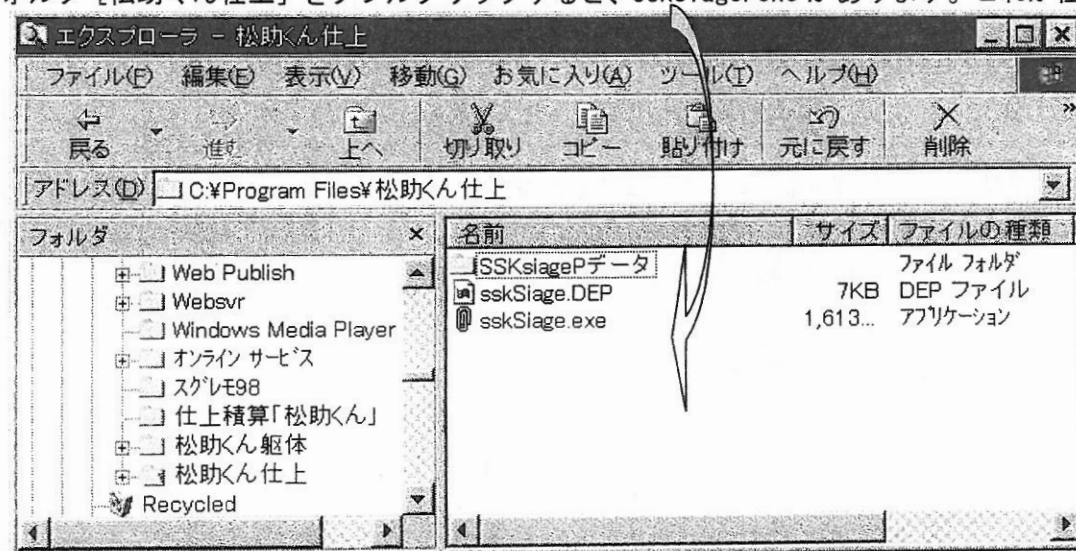
起動の準備

起動の準備（1. ディスクトップに仕上げ積算のショートカットを作る）

セットアップはWindowsのメインフォルダのProgram filesに「松助くん仕上」というフォルダを作り
ます。

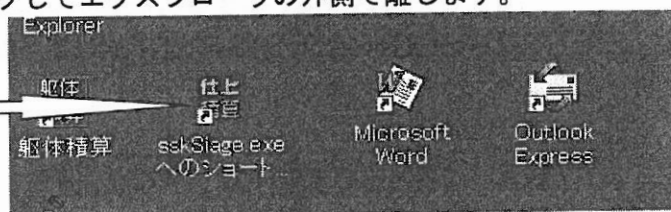


さらにフォルダ「松助くん仕上」をダブルクリックすると、sskSiage.exeがあります。これが仕上げ積算の実行ファイルです。



sskSiage.exe をクリックしさらにドラッグしてエクスプローラの外側で離します。

これで、仕上げ積算のショートカットができました。



修正プログラムのインストール (フロッピーディスクからのインストール)

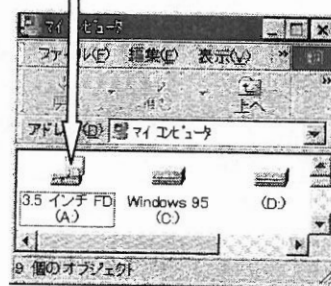
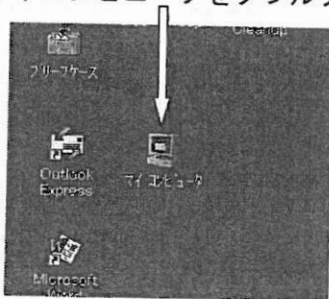
修正プログラムとは

プログラム開発者として完成度100%をめざして日夜奮闘しておりますが、現実にはプログラムのバグやその他の不具合があり、皆様には申し訳なく思っております。このようなときに修正したプログラムを皆様にお送りする訳ですが、大きく2通りの御送致方法があります。

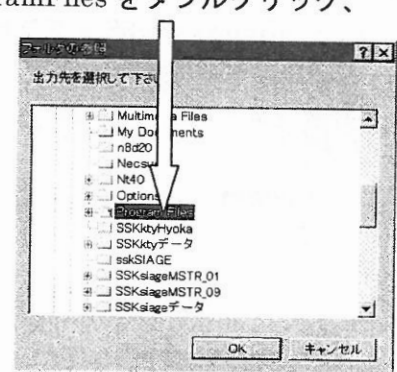
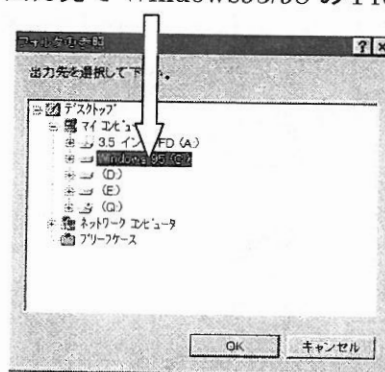
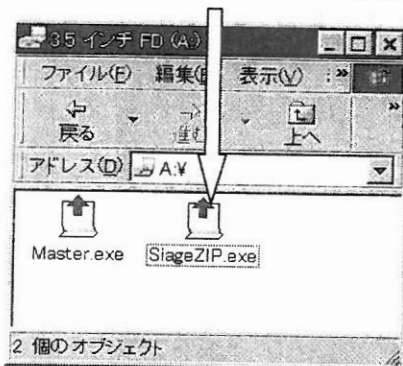
- ①更新プログラムを圧縮してフロッピーディスクに格納し、郵便にて御送致する。
- ②更新プログラムを圧縮し、皆様の電子メールアドレスに格納し、取り出してもらう の2種類です。

フロッピーディスクの場合

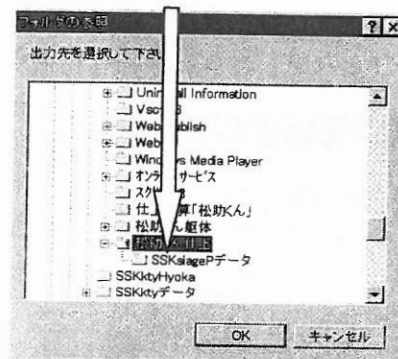
Windowsの画面の他にプログラムが起動されていない状態でフロッピーディスクをドライブにセットしマイコンピュータをダブルクリックします。続けて3.5インチFDをダブルクリック。



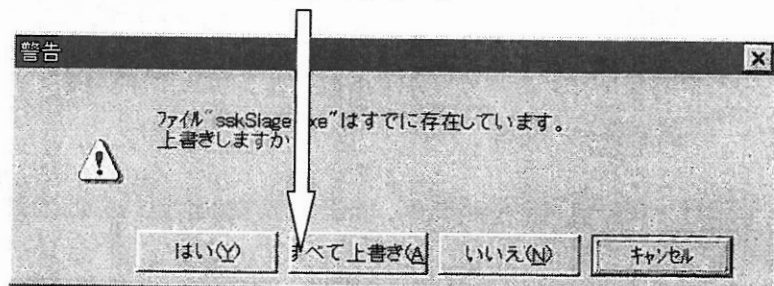
SiageZIP.exe をダブルクリックし、出力先で Windows95/98 の ProgramFiles をダブルクリック、



「松助くん仕上」をダブルクリックして松助くん仕上の背景が藍色になったらOKを押します。



下のように表示されたら成功です。
すべて上書きをクリックして下さい。

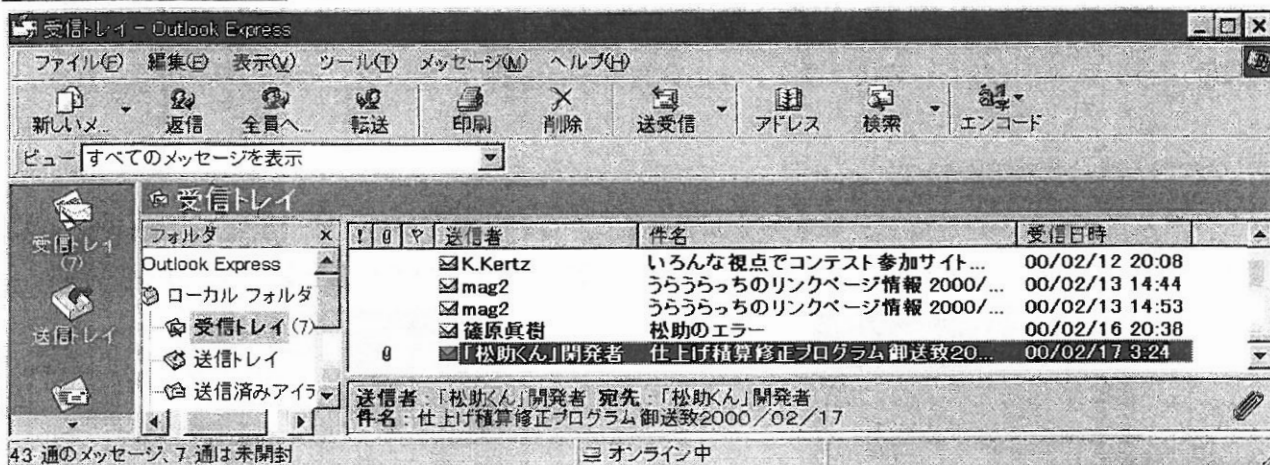


修正プログラムのインストール (電子メールからのインストール)

電子メールの場合 お客様のマシンがインターネットが使用できる場合には電子メールで更新することができます。



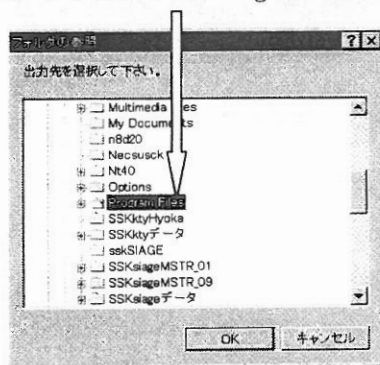
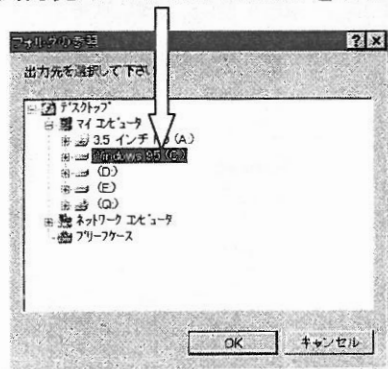
ここでは Outlook Express の画面で説明します。Windows のデスクトップで Outlook Express を起動します。下のように開発者からのメールが表示されているはずです。該当部をダブルクリックします。



添付ファイルをデスクトップに保存して下さい。

右のようにデスクトップにショートカット SiageZip.exe として表示されるはずです。これをダブルクリックします。

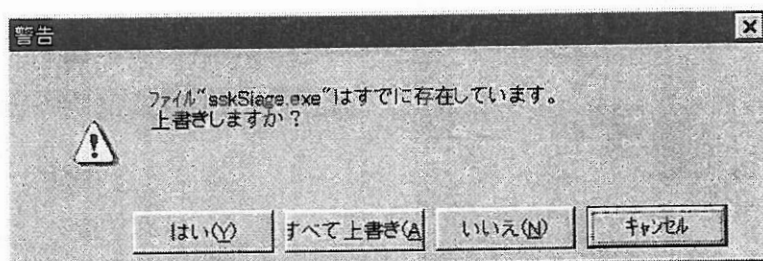
出力先で Windows95/98 をダブルクリック、次に ProgramFiles をダブルクリック、



「松助くん仕上」をダブルクリックして松助くん仕上の背景が藍色になったらOKを押します。



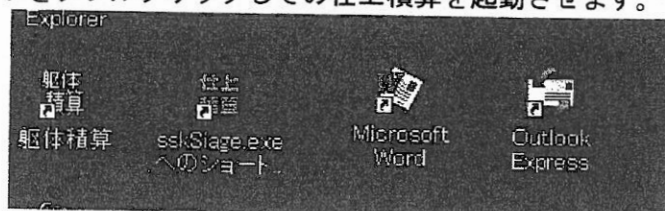
下のように表示されたら成功です。「すべて上書き」をクリックします。



修正インストールが終わったらデスクトップの SiageZIP.exe を削除して下さい (メモリ節約のため)

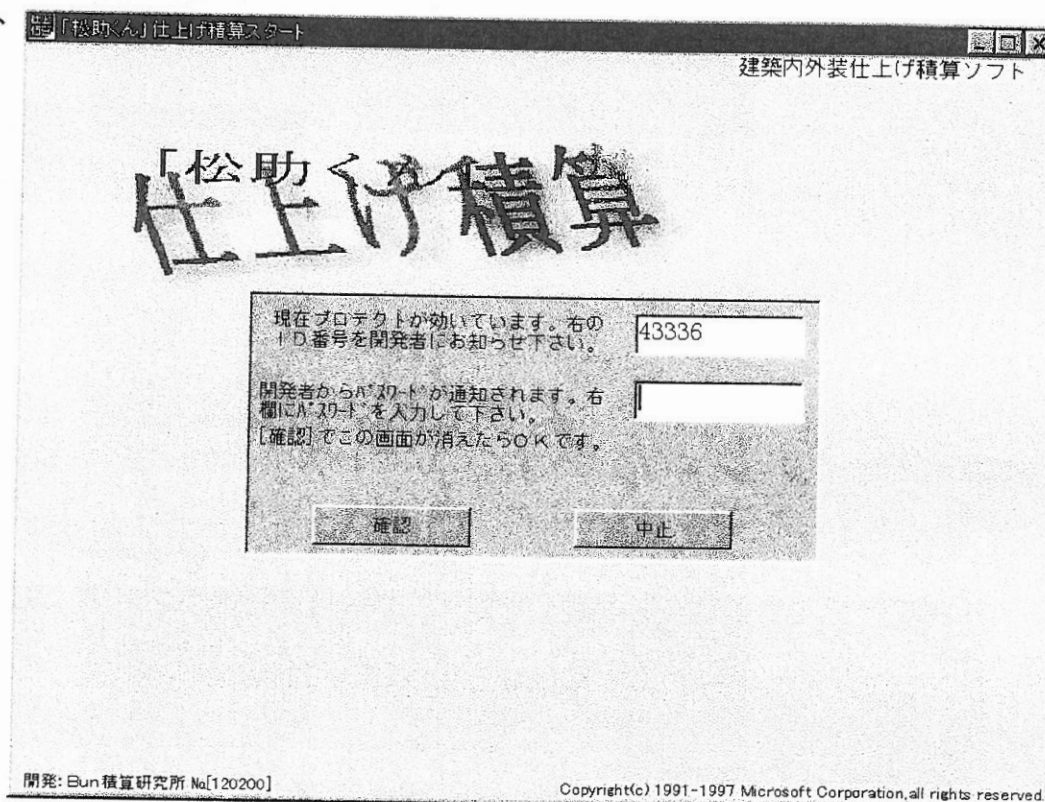
起動・プロテクトの解除

それでは、ショートカットをダブルクリックしての仕上積算を起動させます。



本システムには暗号パスワードによるプロテクトが掛けられています。

この画面が出たら、
表示されたID番号を
開発者までお知らせ下さい。



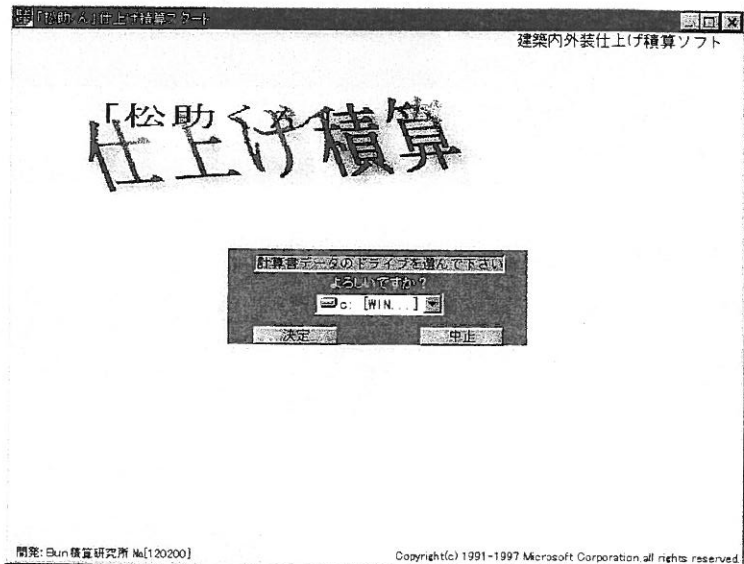
TEL 099-282-1333 または携帯 TEL 090-2390-2203 です。

こちらから折り返しご連絡を致します。

仕上げ積算の起動・データフォルダ作成

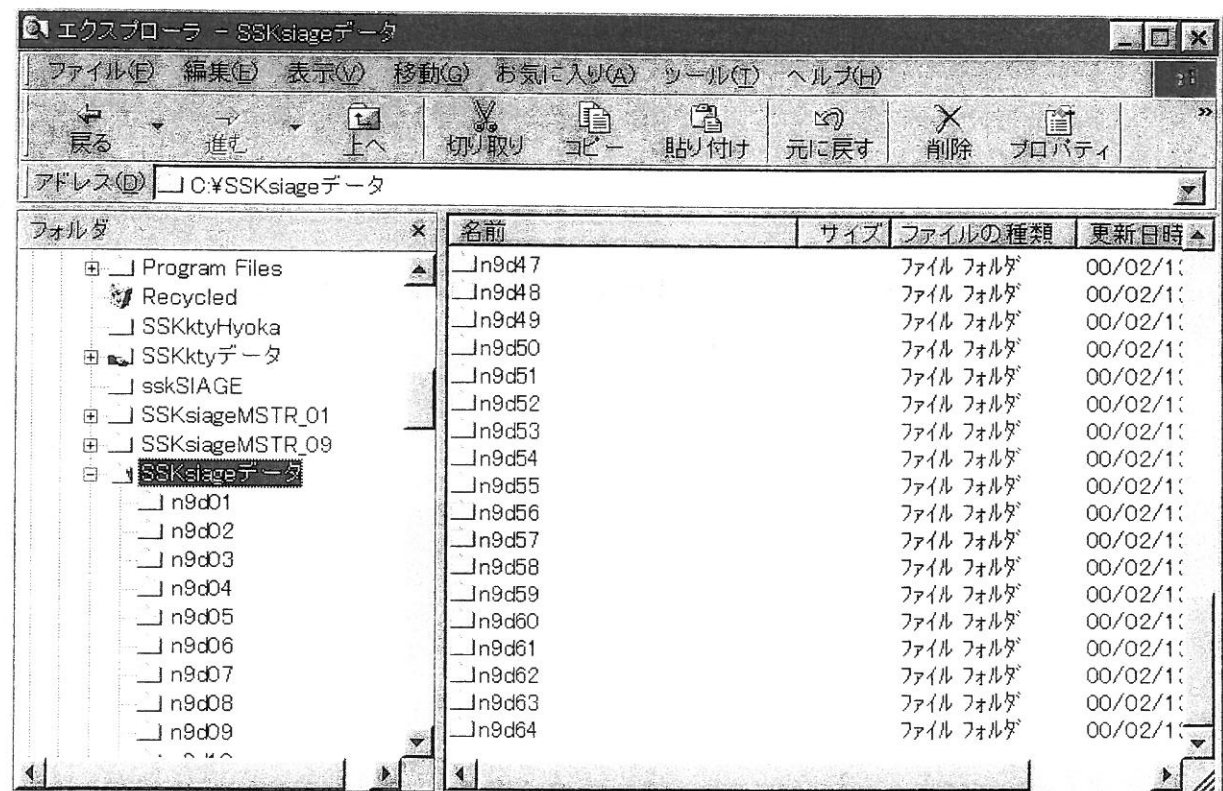
プロテクトが解除されると、データフォルダ作成の確認メッセージが表示されます。

通常、DOS-V機では[C:]、NEC機では[A:]です。他にハードディスクドライブが接続されている場合は違うドライブに変更できます。本書では[C:]を選んだことにして進めます。



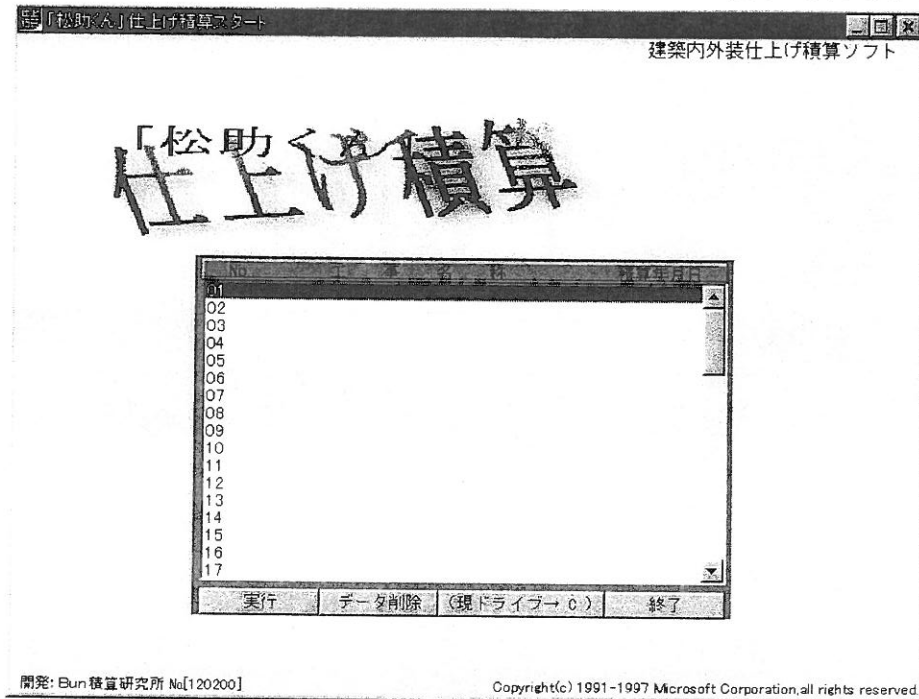
決定したドライブに[SSK siage データ]というフォルダ、その下に子フォルダとして各積算データの格納フォルダ[n9d01]～[n9d64]が作成されます。

下図はエクスプローラでフォルダの様子を表示させたものです。



仕上げ積算の起動・積算物件選択

工事リストを選択する画面が表示されます。今後、の起動ではこの画面が最初に表示されます。



1 番目を選択しました。工事名称と積算年月日を入力します。なにも入力せず、[RET] とした場合「新規積算 2000…」と表示されます。

「松助 仕上げ積算」

工事名: 新規積算2000-02-13 17:11:24

積算年月日:

この物件ではどのマスタデータを使うのかはまだ決定されていません。次はマスタデータのドライブを選択する画面です。画面では [C:] ドライブを選んでいました。

工事名: 新規積算2000-02-13 17:11:24

積算年月日: 2000-02-13

マスタデータのドライブを選んで下さい

c: [WIN...]

決定

中止

仕上げ積算の起動・マスタデータ決定

1 番目と 9 番目に添付マスタデータが表示されています。

画面は「松助くん」付属マスタを選んでいきます。

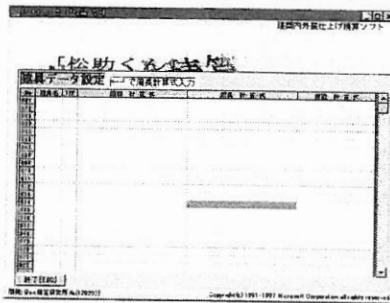
「松助」仕上げ積算

工事名: 新規積算2000-02-1318:01:14		積算年月日: 2000-02-13	
マスタデータを選んで下さい			
番号No.	マスタデータ名称	実行日数	最終更新日
01	公共工事マスター	28	
02			
03			
04			
05			
06			
07			
08			
09	「松助くん」付属マスタ	21	
決定(←)		編集(E)	<ドライブ C> 終了

やっと仕上積算のメインメニューが表示されました。

「松助くん」仕上げ積算スタート		建築内外装仕上げ積算ソフト
「松助」仕上げ積算		
工事名: 新規積算2000-02-1318:06:33		積算年月日: 2000-02-13
マスタデータ: C:「松助くん」付属マスタ		
処理を選んで下さい		
仕上げ計算書	建具データ設定	ファイル操作
仕上げ集計表	マスタデータ編集	終了
開発: Bun 積算研究所 No[120200] Copyright(c) 1991-1997 Microsoft Corporation, all rights reserved.		

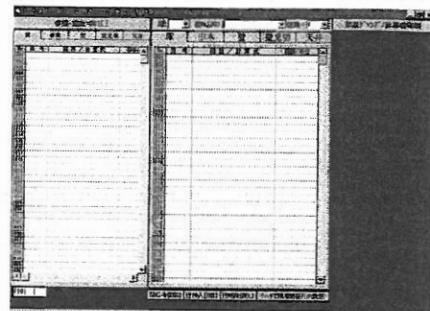
メインメニューの説明



①建具データ設定

積算開始のときに最初に行います。

建具記号・番号、建具形状・寸法を入力し、建具面積、周長、底辺長を登録します。このデータは、開口部面積差引、モルタル充填長、巾木開口差引などに使われます。



②仕上げ計算書

本システムの主役です。拾いの部位を床・巾木・壁・壁見切・天井の5部位に分け、積算細目と計算式を入力するようになっています。

工事名: 新規積算2000-02-1317:55:14

積算年月日: 2000-02-13

マスターデータ: 「松助くん」付属マスタ



③仕上げ集計表

積算計算書を自動的に集計します。

1次集計、2次集計があります。

④マスターデータ編集

マスターデータ新規に作成、またはマスターデータを集中的に変更します。マスターデータの途中変更は計算書入力中でもできます。

部材	巾木	壁	壁見切	天井
床	12.00	1.00	1.00	1.00
壁	1.00	1.00	1.00	1.00
天井	1.00	1.00	1.00	1.00
壁見切	1.00	1.00	1.00	1.00
巾木	1.00	1.00	1.00	1.00
合計	16.00	4.00	4.00	4.00

部材	巾木	壁	壁見切	天井
床	12.00	1.00	1.00	1.00
壁	1.00	1.00	1.00	1.00
天井	1.00	1.00	1.00	1.00
壁見切	1.00	1.00	1.00	1.00
巾木	1.00	1.00	1.00	1.00
合計	16.00	4.00	4.00	4.00


操作説明……基本操作の説明その1

基本操作その1→仕上げ積算はキーボード入力を主に開発しています。

弊社で既にリリースしております躯体積算システムは「正確に図面を描いてリストを入力するだけで自動的に躯体数量を計算し集計する」ことを主要題目にして開発しました。操作の大部分、特に前半の伏図作成ではマウスクリックだけで操作するようになっていきます。

今回の「仕上げ積算」は躯体積算のように「コンピュータが自動的に積算データを生成する」システムではありません。建物の内外部の床～天井の積層細目、計算式を『キーボードで入力する』のが基本的操作になります。

基本操作その2→矢印キー+[Enter]

右図の  を通常のマウスカーソルに対して行列カーソルと呼ぶことにします。

矢印キー↑↓←→で行列カーソルを移動し、目的の場所で[Enter] を叩くのが全般に渡る基本操作です。

	床	中本	壁	壁見切	天井
No.	層号	細目/計算式	積算/単位		
001					
002					
003					
004					

基本操作その3→テキストBoxとコンボBox

目的の場所で[Enter] を叩いたときに現れる右図のような4角形を「テキストBox」と呼ぶことにします。

右のように▼の付いた4角形を「コンボBox」と呼ぶことにします。

		天井	70

03		靴拭マット枠付スルス		枚
04		排水溝グレーチング		枚
05				

コンボBoxは▼をマウスでクリックするか、Box内で|が点滅しているときに[Alt]+[↓]を押すと右のようにドロップダウンリストが表示されます。

床スルス靴拭きマット
床スルス目地橋
靴拭マット枠付スルス
排水溝グレーチング

つまり、テキストBoxは必ずテキストを入力するのにに対しコンボBoxは過去に入力したテキストを呼び出すことができます。

テキストBox・コンボBoxが右図のように背景が藍色になっているとき、「選択状態」と呼びます。

選択状態のまま[BS]キーや[Del]を押すと右の「排水溝グレーチング」の文字が消えてしまいます。

03		靴拭マット枠付スルス		枚
04		排水溝グレーチング		枚
05				

選択状態のまま[→]キーや[←]を押すと選択状態が解除され、テキストカーソル(|)を文字間で動かせるようになります。

001		軽鋼鉄骨下地工事	6
002		金物工事	4

この場合[BS]で(|)の左側の1文字が、[Del]で(|)の右側の1文字が消えます。また、(|)が左端にあるとき、[Shift]を押しながら[→]を押し続けるとその部分が「選択状態」になります。

操作説明……基本操作の説明その2

基本操作その4→[ESC]キー・[Delete]キー・[Insert]キー

1. [ESC] キー 本システム動作をキャンセルするときに使用しています。[Enter] を叩いてテキストボックスやコンボボックスが表示されているとき、[ESC] を押すとボックスが消え、元の行列カーソルになります。また関連する「表」や「計算機」が表示されているとき [ESC] を押すとそれらが閉じます。「ヤ～メタ」という意味とご理解ください。
2. [Delete] キー 本来「消去する」という意味です。テキストカーソル(|)点滅時に押すと、(|)の右側の1文字が削除されます。特に本システムでは「行削除」の意味でこのキーが使われています。画面上では『行削除 [DEL]』と表記されています。
3. [Insert] キー 「挿入する」の意味です。本システムでは「行挿入」の意味で使用しています。

基本操作その5→文字列操作のときの[Home]キー・[End]キー・[Shift]キー

1. [Home] キー テキストカーソル(|)点滅時に押すと文字列の先頭に(|)が移動します。
2. [End] キー テキストカーソル(|)点滅時に押すと文字列の最後尾に(|)が移動します。
3. [Shift] キー テキストカーソル(|)が先頭にあるとき、[Shift] キーを押しながら [End] キーを押すと文字列全体の背景が藍色になり、選択状態になります。この時 [BS] キーを押すと文字列全体を消去することができます。テキストカーソル(|)が最後尾にあり、[Shift] キーを押しながら [Home] キーを押すと文字列全体の背景が藍色になり、選択状態になります。

このように基本的なキー操作について、説明いたしました。この他に [Ctrl] [Shift] と矢印キーの組み合わせによる操作など Windows により提供されています。そちらの資料などもご参考にして下さい。なお、日本語操作については説明を割愛いたします。

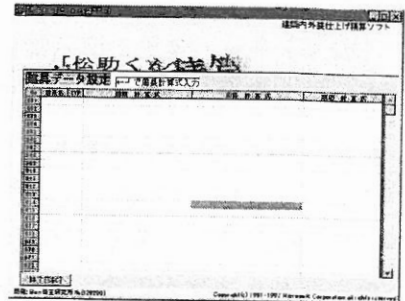
なお本システム画面上にあるスクロールバー、床～巾木～壁見切～天井間切り替えのタブ、部屋ジャンプなど、マウス操作のほうが操作しやすいこともあります。また、マウスだけで操作できるようにしてあります。

操作説明……建具データ設定

建具データ設定は、仕上げ積算を開始するときに、元図面の建具リストで、形状、寸法を入力し、開口部面積、開口部周長、開口部底辺長さを登録しておき、巾木、壁、壁見切の各部位計算式入力のとときに、建具リスト記号（AW1、AD2 など）を入力するだけで必要な計算式を一発入力しようとするものです。

必ず入力しなければならない訳ではありません。「入力しておけば便利」です。なお、この効果は床、天井の部位では反映されません。

なお、建具リストは 256 種類登録することができます。



それでは、行列カーソルを建具名・001 に置き [Enter] とします。

(*マウスクリックしても OK)

建具名入力のテキスト Box

が表示されます。キーボードから AW1 と入力し [Enter] とします。行列カーソルが TYP 欄に移動しています。ここで [Enter] とします。

「松助くん住宅」

建具データ設定 ← で建具名称を入力(例→AW-1 SD2など)

No.	建具名	TYP	面積 計算式	周長 計算式
001				
002				
003				
004				

建具データ設定 ← で建具タイプ表示

No.	建具名	TYP	面積 計算式
001	AW1		
002			
003			

右図のように建具の形が 8 種類表示されました。キーボードで 1 [Enter] とします。タイプ 1 画面で縦・横の寸法を単単位で入力します。

下図のように面積・周長・底辺の計算式

「松助くん住宅」

建具データ設定 建具タイプをクリックして下さい

No.	建具名	TYP	面積 計算式	周長 計算式
001	AW1			
002				
003				
004				
005				
006				
007				
008				
009				
010				
011				
012				
013				
014				
015				
016				
017				
018				
019				
020				
021				
022				

終了[ESC]

欄に計算式が登録されました。Type を選ばず、自由な計算式をキーボードから入力することもできます。

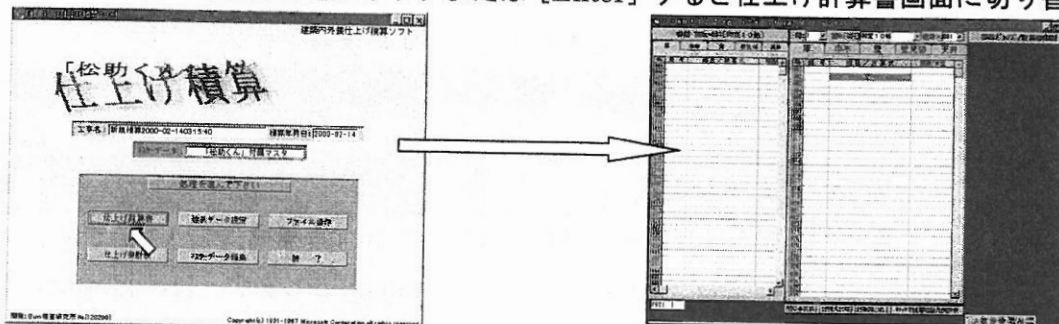
「松助くん住宅」

建具データ設定 ← で建具名称を入力(例→AW-1 SD2など)

No.	建具名	TYP	面積 計算式	周長 計算式	底辺 計算式
001	AW1	1	1.8*2.2	(1.8+2.2)*2	1.8
002					

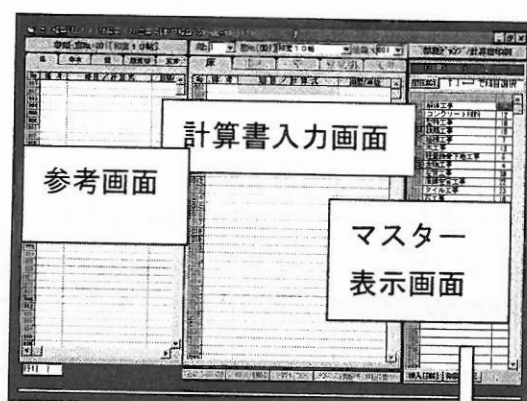
操作説明……仕上げ計算書その1

メインメニューで仕上げ計算書をクリックまたは [Enter] すると仕上げ計算書画面に切り替わります。

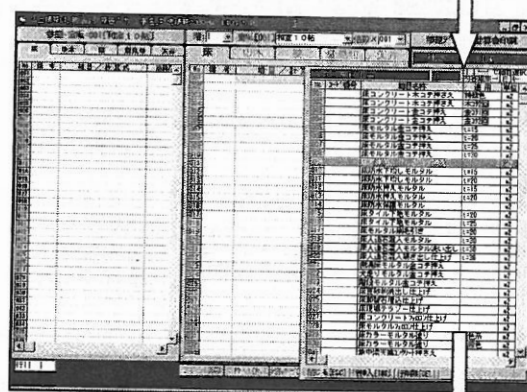


仕上げ計算書画面は3つのブロックに分かれています。真ん中がメインとなる計算書入力画面です。

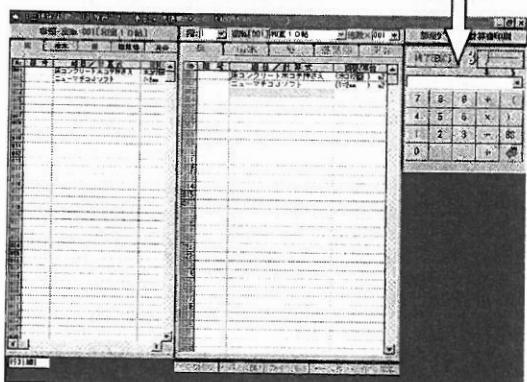
画面の左側は参考画面です。床の画面を見ながら壁の入力を行う、以前入力した部屋のデータを参考にできます。



画面の右側はマスター表示画面です。現在積算科目名一覧が表示されています。



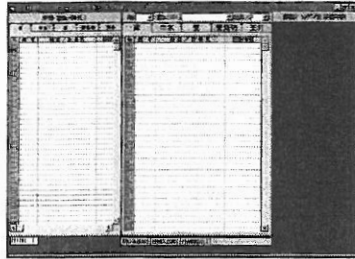
1つの積算科目名の内容が積算細目として表示されています。これが計算書の細目データとして登録されます。



積層細目の入力が終わると、画面右側には計算機が表示されます。

操作説明……仕上げ計算書その2

仕上げ計算書の画面は初期状態で1番目の部屋、部位は「床」を表示します。



データがなにも入力されていない状態です。

新規積算2000-02-1417.39.00

階: [] 室No.[001] 倍数×[1] 部

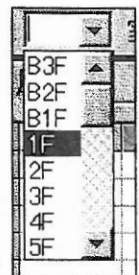
天井 床 巾木 壁 壁見切 天井

階名、部屋名、倍数の各コンボ Box が空白になっています。

階名のコンボ Box に『1 [Enter]』とします。(1F [Enter] でも可)



階名のコンボ Box の▼をクリックまたは [Alt] + [↓] でドロップダウンリストを表示し階名を選択することもできます。(NEC 機では [Graph] + [↓])



室名入力・倍数も同じように入力します。倍数は入力しなければ 001 がセットされます。

倍数入力のあと、行列カーソルが下図のように細目/計算式の列に表示されます。

仕上げ計算「松助くん」計算書入力 工事名「新規積算1999-12-2511.04.55」

参照 室No.[001] 階 1F 室No.[001] 玄関 倍数×[1] 部屋「天井」/計算書印刷

No	備考	細目/計算式	摘要/単位
001			
002			
003			
004			
005			
006			
007			

行列カーソルが細目/計算式の列にあるときに [Enter] を押すと画面右側に科目引出しが表示されます。

(マウスを使う場合はダブルクリックが [Enter] と同じ操作です。)

矢印キー [↓] で左官工事に合わせて [Enter] とします。

No	備考	細目/計算式	摘要/単位
001			
002			
003			
004			
005			
006			
007			
008			
009			
010			
011			
012			
013			

「松助くん」付属マ

↑ ↓ ← → で科目を

001	解体工事	6
002	コンクリート材料	2
003	型枠工事	0
004	鉄筋工事	0
005	組積工事	0
006	木工事	0
007	軽量鉄骨下地工事	0
008	金物工事	0
009	左官工事	38
010	塗装工事	0

本システムの積算書入力では行列カーソルが備考列にあるとき、細目/計算式列にあるとき、摘要/単位列にあるとき [Enter] を押したときの画面の動きが違います。

また、行列カーソルは矢印キー (↑ ↓ → ←) で動かしますが、マウスではクリックすることにより動かし、ダブルクリックすることにより、キーボードの [Enter] を押した場合と同じになります。

操作説明……仕上げ計算書その3

科目引出しの「左官工事」を指示すると左官工事の「床」に登録されている細目が表示されます。

仕上積算「松助くん」計算書入力 工事名[新規積算2000-02-14173800]

参照:室No.=001[] 階:1F 室No.[001]玄関 倍率×001 部屋タイプ/計算書印刷

床 巾木 壁 壁見切 天井

「松助くん」付属マスタ

No	備考	細目/計算式	摘要/▲
001			
002			
003			
004			
005			
006			
007			
008			
009			
010			
011			
012			
013			
014			
015			
016			
017			
018			
019			
020			
021			
022			
023			
024			
025			
026			
027			
028			
029			
030			
031			
032			
033			

15.009 左官工事

No	コード番号	細目名称	適用	単位
001		床コンクリート木コテ押さえ	特殊色	m2
002		床コンクリート木コテ押さえ	木コ2回	m2
003		床コンクリート金コテ押さえ	金コ2回	m2
004		床コンクリート金コテ押さえ	金コ2回	m2
005		床モルタル金コテ押さえ	t=15	m2
006		床モルタル金コテ押さえ	t=20	m2
007		床モルタル金コテ押さえ	t=25	m2
008		床モルタル金コテ押さえ	t=30	m2
009		床防水モルタル金コテ押さえ		m2
010		床防水下均しモルタル	t=15	m2
011		床防水下均しモルタル	t=20	m2
012		床防水押えモルタル	t=15	m2
013		床防水押えモルタル	t=20	m2
014		床防水保護モルタル		m2
015		床タイル下地モルタル	t=20	m2
016		床タイル下地モルタル	t=25	m2
017		床モルタル刷毛引き	t=20	m2
018		床人造石混入モルタル	t=30	m2
019		床人造石混入モルタル洗い出し	t=30	m2
020		床人造石混入研ぎ出し仕上げ	t=30	m2
021		側溝床モルタル金コテ押さえ		m2
022		犬走りモルタル金コテ押さえ		m2
023		階段モルタル金コテ押さえ		m2
024		床豆砂利洗い出し仕上げ		m2
025		床部留石埋込仕上げ		m2
026		床現場テラゾー仕上げ		m2
027		床コンクリートタタキ仕上げ		m2
028		床モルタルタタキ仕上げ		m2
029		床カラーモルタル塗り	緑色系	m2
030		床カラーモルタル塗り	一般色	m2
031		地中梁天端コンクリート押さえ		m2

行1 | INS=0 閉じる[ESC] 行挿入[INS] 行削除[DEL]

現在積算しているのは、「玄関」の「床」です。ここの仕上げは

①床タイル下地モルタル t=20mm 単位 m2 ②床 100 角タイル貼り 単位m2 の2層になっています。仕上げ下地～表面処理までの仕上げの層の数には特に制限はありません。それでは第1層から入力します。矢印キー[↓]で床タイル下地モルタル t=20mm m2に合わせて[Enter]とします。

仕上積算「松助くん」計算書入力 工事名[新規積算2000-02-14173800]

参照:室No.=001[] 階:1F 室No.[001]玄関 倍率×001 部屋タイプ/計算書印刷

床 巾木 壁 壁見切 天井

「松助くん」付属マスタ

No	備考	細目/計算式	摘要/▲
001			
002			
003			
004			
005			
006			
007			
008			
009			
010			
011			
012			
013			
014			
015			
016			
017			
018			
019			
020			
021			
022			

15.009 左官工事

No	コード番号	細目名称	適用	単位
001		床コンクリート木コテ押さえ	特殊色	m2
002		床コンクリート木コテ押さえ	木コ2回	m2
003		床コンクリート金コテ押さえ	金コ2回	m2
004		床コンクリート金コテ押さえ	金コ2回	m2
005		床モルタル金コテ押さえ	t=15	m2
006		床モルタル金コテ押さえ	t=20	m2
007		床モルタル金コテ押さえ	t=25	m2
008		床モルタル金コテ押さえ	t=30	m2
009		床防水モルタル金コテ押さえ		m2
010		床防水下均しモルタル	t=15	m2
011		床防水下均しモルタル	t=20	m2
012		床防水押えモルタル	t=15	m2
013		床防水押えモルタル	t=20	m2
014		床防水保護モルタル		m2
015		床タイル下地モルタル	t=20	m2
016		床タイル下地モルタル	t=25	m2
017		床モルタル刷毛引き	t=20	m2
018		床人造石混入モルタル	t=30	m2
019		床人造石混入モルタル洗い出し	t=30	m2
020		床人造石混入研ぎ出し仕上げ	t=30	m2
021		側溝床モルタル金コテ押さえ		m2
022		犬走りモルタル金コテ押さえ		m2
023		階段モルタル金コテ押さえ		m2
024		床豆砂利洗い出し仕上げ		m2
025		床部留石埋込仕上げ		m2
026		床現場テラゾー仕上げ		m2
027		床コンクリートタタキ仕上げ		m2
028		床モルタルタタキ仕上げ		m2
029		床カラーモルタル塗り	緑色系	m2
030		床カラーモルタル塗り	一般色	m2
031		地中梁天端コンクリート押さえ		m2

行1 | INS=0 閉じる[ESC] 行挿入[INS] 行削除[DEL]

マウス操作では、いきなり床タイル下地モルタル t=20mm m2 をダブルクリックで OK です。

床タイル下地モルタルが 1 行目に表示されました。左の参照画面も同じように表示されています。

画面の右側には「科目引出し」が表示されたままです。

再び[↓]キーで[タイル工事]に合わせます。キーボードで[Enter]するとき、科目名の右側でクリックすることに注意

タイル工事	23
工工事	10

して下さい。[←]キーでカーソルを左側に移して[Enter]すると科目名称を変更する操作になります。

マウスクリックの場合は右左どちらでもかまいません。

タイル工事「床」の細目が表示されまし

た。「床 100 角磁器タイル」似合わせて [Enter] とします。

細目/計算式欄の 2 行目に
「床 100 角磁器タイルが
表示されました。

今回はこの2層で仕上げ細目の拾い出しは終了です。今度は計算式を入力しなければなりません。ここで[→]を押す、カーソルを摘要/単位欄に移すと、画面右側の[科目引出し]が消えます。

-18-

操作説明……仕上げ計算書その5

床	巾木	壁	壁見切	天井
No	備考	細目/計算式	摘要/単位	
001		床タイル下地モルタル t=20		
002		床100角磁器タイル		
003				
004				
005				

カーソルが摘要/単位欄にあるとき [Enter] かダブルクリックすると計算機が表示されます。
計算式はキーボード/画面のボタンクリック、どちらの操作でも入力できます。

仕上積算「松助」計算書入力 工事名[新規積算2000-02-141739.00]

参照: 室No. 001 [玄関] 階: 1F 室No. [001] 玄関 倍率: 001 部屋ジャンプ/計算書印刷

床	巾木	壁	壁見切	天井
No	備考	細目/計算式	摘要/単位	
001		床タイル下地モルタル t=20		
002		床100角磁器タイル		
003				
004				
005				
006				
007				
008				
009				
010				
011				
012				
013				
014				
015				

終了[ESC] 3 5

7 8 9 ÷ ()
4 5 6 ×)
1 2 3 - BS
0 + ←

計算機の右上にあるは数値丸めの切り替えスイッチです。少数第3位を四捨五入するのか、少数第5位を四捨五入するのか選ぶことができます。(木材材積計算のとき摘要します。)

ちなみに木材計算では、単位が m³ のとき 45 * 105 * 3.0 などという入力ができます。(自動的に少数第5位で四捨五入します。)

終了[ESC] 3 5

8 9 ÷ ()

それではキーボードまたはボタンクリックで 3.25 * 5.58 [Enter] or [↵] と入力します
計算式 3.25 * 5.58 が表示されました。

参照: 室No. 001 [玄関] 階: 1F 室No. [001] 玄関 倍率: 001 部屋ジャンプ/計算書印刷

床	巾木	壁	壁見切	天井
No	備考	細目/計算式	摘要/単位	
001		床タイル下地モルタル t=20		
002		床100角磁器タイル		
003		3.25*5.58		
004				
005				
006				
007				

終了[ESC] 3 5

7 8 9 ÷ ()
4 5 6 ×)

続けて (1.25 * 3.33) / 2 [Enter] or [↵] と入力します。このように計算式を自由に入力できます。

床	巾木	壁	壁見切	天井
No	備考	細目/計算式	摘要/単位	
001		床タイル下地モルタル t=20		
002		床100角磁器タイル		
003		3.25*5.58		
004		(1.25*3.33)/2		
005				
006				
007				

終了[ESC] 3 5

7 8 9 ÷ ()
4 5 6 ×)

現在積算しているのは玄関の床ですが、ここで「玄関床にモルタル下地、真鍮目地枠のゴム製マット (900 × 1200) がある」ことを想定します。最初に現在拾ったタイル面積からモルタル部分を差し引きます。そのときに画面左の備考欄にマット枠差し引きであることを表示します。また差し引く計算式の先頭に差し引きであるシンボルマーク (→▲) を表示します。

操作説明……仕上げ計算書その6

現在の状態は計算機のコンボBoxに() が点滅しているはず、このまま←キーを押します。

(マウスの場合は計算機の左上にある[ESC]をクリックします。)

終了[ESC]

3

No	備考	細目/計算式	摘要/単位
001		床タイル下地モルタル	t=20
002		床100角磁器タイル	m2
003		3.25*5.58	18.14
004		(1.25*3.33)/2	2.08
005			
006			
007			

カーソルが備考欄に移動し、計算機が消えました。この位置で[Enter] or [↵] とします。

No	備考	細目/計算式	摘要/単位
001		床タイル下地モルタル	t=20
002		床100角磁器タイル	m2
003		3.25*5.58	18.14
004		(1.25*3.33)/2	2.08
005			
006			
007			

備考欄のカーソルがコンボBoxに変わりました。キーボードから「足拭マット」と入力します。

備考欄は自動的に日本語入力になっていません。[Alt] + [漢字] で日本語入力可能モードにします。

ここで注意するのは、備考欄は全角4文字(半角8文字)以内という制限があるということです。

「足拭きマット」は全角6文字、「足拭きマット」全角4文字半です。それで送り仮名の「き」を省略して

「足拭マット」としました。これだと半角7文字で1つ余裕があります。入力終了は[Enter] です。

キーボードで備考・科目名称・細目名称・摘要など「言葉」を入力した場合はマウスでは決定できません。

コンボBoxに「足拭マット」と書かれていることを確認して[Enter] を押します。

細目/計算式欄に▲が表示されています。また計算機のコンボBoxにも▲が表示されています。

No	備考	細目/計算式	摘要/単位
001		床タイル下地モルタル	t=20
002		床100角磁器タイル	m2
003		3.25*5.58	18.14
004		(1.25*3.33)/2	2.08
005			
006			
007			
008			
009			
010			
011			
012			
013			
014			

このように、備考欄になにか文字を入力すると、その行の先頭に▲が表示されます。特に計算機のコンボBox のが▲のように背景が藍色になっていることに注意して下さい。▲のまま1.20*0.90 などと入力すると、▲が無視されて1.20*0.90 と表示されます。

の状態です[→] キーを押すと背景の藍色が消えて▲が▲に変わります。ここで1.20*0.90 と入力し、[Enter] とすると▲1.20*0.90 が細目/計算式欄に表示され、答え-1.08 となります。

No	備考	細目/計算式	摘要/単位
001		床タイル下地モルタル	t=20
002		床100角磁器タイル	m2
003		3.25*5.58	18.14
004		(1.25*3.33)/2	2.08
005		足拭マット ▲1.20*0.90	-1.08
006			
007			
008			
009			

操作説明……仕上げ計算書その7

前ページで『備考欄になにか文字を入力すると、その行の先頭に▲が表示されます。』書きましたが、メインメニューの「建具データ設定」でAW1・AD1・WD2などのデータが設定されており、計算部位が床・天井以外の「巾木」「壁」「壁見切」で備考欄の文字が建具名称と同じ場合は、該当する計算式が表示されます。「建具データ設定」で名称→AW1、タイプ→1、開口巾→1.20、開口高→2.0の場合
備考欄にAW1と入力すると
部位「巾木」で▲1.20、部位「壁」で▲1.20*2.0、部位「壁見切」(1.20+2.0)*2と表示されます。

それでは計算式入力が続けます。現在、下のようになっています。ここで、計算式終了の操作をします。

No.	備考	細目/計算式	摘要/単位
001		床タイル下地モルタル t=20	m2
002		床100角磁器タイル	m2
003		3.25*5.58	18.14
004		(1.25*3.33)/2	2.08
005	足拭マツ	▲1.20*0.90	-1.08
006			
007			
008			

[→] キーを押すと、右側の計算機が消え、行列カーソルが摘要/単位欄に移動します。

No.	備考	細目/計算式	摘要/単位
001		床タイル下地モルタル t=20	m2
002		床100角磁器タイル	m2
003		3.25*5.58	18.14
004		(1.25*3.33)/2	2.08
005	足拭マツ	▲1.20*0.90	-1.08
006			
007			
008			

ここで[Enter]を押すと、[計]と[倍計]が表示されます。

No.	備考	細目/計算式	摘要/単位
001		床タイル下地モルタル t=20	m2
002		床100角磁器タイル	m2
003		3.25*5.58	18.14
004		(1.25*3.33)/2	2.08
005	足拭マツ	▲1.20*0.90	-1.08
006			(計)= 19.14
007			19.14 ×001倍計= 19.14
008			
009			

行列カーソルが次の行に移っています。

マウス操作では上の①画面で、摘要/単位欄をダブルクリックするだけで

No.	備考	細目/計算式	摘要/単位
001		床タイル下地モルタル t=20	m2
002		床100角磁器タイル	m2
003		3.25*5.58	18.14
004		(1.25*3.33)/2	2.08
005	足拭マツ	▲1.20*0.90	-1.08
006			
007			
008			

[計]と[倍計]が表示されます。

No.	備考	細目/計算式	摘要/単位
001		床タイル下地モルタル t=20	m2
002		床100角磁器タイル	m2
003		3.25*5.58	18.14
004		(1.25*3.33)/2	2.08
005	足拭マツ	▲1.20*0.90	-1.08
006			(計)= 19.14
007			19.14 ×001倍計= 19.14
008			
009			

操作説明……仕上げ計算書その8

いま玄関の床、床タイル下地モルタル+100 角磁器タイル貼りの1ブロックの積算が終わりました。

次に2ブロック目として1ブロックで差し引いた足拭マット下の仕上げを積算します。細目は「床モルタル金コテ押さえ」計算式は「 1.20×0.90 」です。[↓]キーを押すと行列カーソルが1段下がります。

床	巾木	壁	壁見切	天井	床	巾木	壁	壁見切	天井
No	備考	細目/計算式	摘要/単位		No	備考	細目/計算式	摘要/単位	
001		床タイル下地モルタル	t=20		001		床タイル下地モルタル	t=20	m2
002		床100角磁器タイル			002		床100角磁器タイル		m2
003		3.25*5.58			003		3.25*5.58		18.14
004		(1.25*3.33)/2			004		(1.25*3.33)/2		2.08
005	足拭マット	▲1.20*0.90			005	足拭マット	▲1.20*0.90		-1.08
006		(計)=			006		(計)=		19.14
007		19.14 × 001倍計=			007		19.14 × 001倍計=		19.14
008					008				
009					009				
010					010				
011					011				
012					012				

ブロック間に空白行を作ると印刷した時に計算書が見やすくなると思いますがこれは好みの問題です。

ただし、計算式入力画面は最大128行という制限があります。外部仕上げの場合はかなりの行数を使いますから、空白行はもったいないということもあります。また、あとで計算細目、計算行など新しいブロックを挿入する場合はブロック間に空白行があると操作が簡単にできます。

それでは、上の画面の状態①[Enter]またはダブルクリックして科目引出しを表示させます。

②科目「左官工事」で[Enter]またはダブルクリックで細目表示

③床モルタル金コテ押さえ t=20 を選びます。

④[→]キーカーソルを右に写し、[Enter]で計算機を表示させます。

(摘要/単位欄ダブルクリックで計算機を表示させてもOK)

の操作をします。ここで入力する計算式 1.20×0.90 について考えます。以前差し引きで入力しました。

参照画面に表示されています。このデータをコピーします。

床	巾木	壁	壁見切	天井	床	巾木	壁	壁見切	天井
No	備考	細目/計算式	摘要/単位		No	備考	細目/計算式	摘要/単位	
001		床タイル下地モルタル	t=20		001		床タイル下地モルタル	t=20	m2
002		床100角磁器タイル			002		床100角磁器タイル		m2
003		3.25*5.58			003		3.25*5.58		18.14
004		(1.25*3.33)/2			004		(1.25*3.33)/2		2.08
005	足拭マット	▲1.20*0.90			005	足拭マット	▲1.20*0.90		-1.08
006		(計)=			006		(計)=		19.14
007		19.14 × 001倍計=			007		19.14 × 001倍計=		19.14
008					008				
009		床モルタル金コテ押さえ	t=20		009		床モルタル金コテ押さえ	(t=20)	m2
010					010				
011					011				
012					012				

参照画面の▲1.20*0.90をマウスでクリックします。薄い緑の▲1.20*0.90に変わります。コピーするのはこの行だけです。再びこの行をクリックします。緑が少し濃くなります。このままマウスを動かすと▲1.20*0.90がドラッグされた状態になります。

No	備考	細目/計算式	摘要/単位		No	備考	細目/計算式	摘要/単位	
001		床タイル下地モルタル	t=20		001		床タイル下地モルタル	t=20	m2
002		床100角磁器タイル			002		床100角磁器タイル		m2
003		3.25*5.58			003		3.25*5.58		18.14
004		(1.25*3.33)/2			004		(1.25*3.33)/2		2.08
005	足拭マット	▲1.20*0.90			005	足拭マット	▲1.20*0.90		-1.08
006		(計)=			006		(計)=		19.14
007		19.14 × 001倍計=			007		19.14 × 001倍計=		19.14
008					008				
009		床モルタル金コテ押さえ	t=20		009		床モルタル金コテ押さえ	(t=20)	m2
010					010				
011					011				
012					012				

このままマウスを動かし、コピーしたい位置でクリックします。


操作説明……仕上げ計算書その9

▲1.20 * 0.90 がコピーされました。ここで [Enter] かマウスでダブルクリックします。

床	巾木	壁	壁見切	天井
No	備考	細目/計算式	摘要/単位	
001		床タイル下地モルタル t=20	m2	
002		床100角磁器タイル	m2	
003		3.25*5.58	18.14	
004		(1.25*3.33)/2	2.08	
005	足拭マツ	▲1.20*0.90	-1.08	
006		(計)=	19.14	
007		19.14 × 001倍計=	19.14	
008		床モルタル金コテ押え t=20	m2	
009		床モルタル金コテ押え t=20	m2	
010		足拭マツ ▲1.20*0.90	-1.08	
011				
012				
013				

画面の計算機に▲1.20 * 0.90 が表示されています。この▲を削除します。[←] キーで [] を▲の右まで動かし [BS] を押すか、[] を文字列の先頭まで動かし [Delete] を押します。続けて [Enter] とします。

壁見切		天井	
No	摘要/単位	終	ESC
	t=20) m2	3	5
) m2	▲1.20*0.90	
	18.14	7	8
	2.08	9	÷
(計)=	-1.08	4	5
1箇計=	18.14	6	×
	19.14	1	2
	t=20) m2	3	-
	-1.08	BS	
		0	+

マウスの場合、▲の文字右側をクリック、計算機の BS ボタンをクリックし、計算機の  をクリックしても同じです。

計算機の式が消え、細目/計算式 10 行目に 1.20 * 0.90 が表示されまし

た。計算機は表示されたままですが、行列カーソルは次の行(11)に移っています。

計算式はこれでおしまいなので、[→] キーを

押します。すると、行列カーソルが摘要/単位欄に移って計算式が消えます

行列カーソルが摘要/単位欄にある状態で [Enter] を押すと現ブロックの結論が出ます。

床	巾木	壁	壁見切	天井
No	備考	細目/計算式	摘要/単位	
001		床タイル下地モルタル t=20	m2	
002		床100角磁器タイル	m2	
003		3.25*5.58	18.14	
004		(1.25*3.33)/2	2.08	
005	足拭マツ	▲1.20*0.90	-1.08	
006		(計)=	19.14	
007		19.14 × 001倍計=	19.14	
008		床モルタル金コテ押え t=20	m2	
009		床モルタル金コテ押え t=20	m2	
010	足拭マツ	1.20*0.90	-1.08	
011		(計)=	1.08	
012		1.08 × 001倍計=	1.08	
013				
014				

* マウス場合は、上の①の画面で 11 行摘要/単位欄をダブルクリックするだけで結論が出ます。

参照画面からの計算式コピーを行いました。今回はコピー開始行とコピー終了行が同じ (1 行) でしたが、複数行の計算式コピーもできます。細目行のコピーはできません。参照画面が他の部位や他の部屋であっても同じように計算式コピーができます。コピー開始行から下に向かってコピー範囲を決めますが、開始行・終了行とも計算行しか指定できません。また、現在のブロックを飛び越え、次のブロックに跨いで終了行を指示しても現在のブロック内で範囲が決まります。また、既に結論が出ている (倍計が表示されている) ブロックのコピー先を指示することはできません。

操作説明……仕上げ計算書その10

床の2つのブロックの仕上げ積算を行いました。次に3ブロック目を行います。今回は「マスターデータに無い細目の積算」をします。現在、画面下のようになっていることにします。

参照 室No.001[玄関]				階:1F 室No.001[玄関] 倍率×001				部屋マスタ/計算書印刷			
床		巾木		壁		壁見切		天井			
No.	備考	細目/計算式	摘要/▲	No.	備考	細目/計算式	摘要/▲	No.	備考	細目/計算式	摘要/▲
001		床タイル下地モルタル	t=20	001		床タイル下地モルタル	t=20	001		床タイル下地モルタル	t=20
002		床100角磁器タイル		002		床100角磁器タイル		002		床100角磁器タイル	
003		3.25*5.58	1	003		3.25*5.58	18.14	003		3.25*5.58	18.14
004		(1.25*3.33)/2		004		(1.25*3.33)/2	2.08	004		(1.25*3.33)/2	2.08
005	足拭マツ	▲1.20*0.90		005	足拭マツ	▲1.20*0.90	-1.08	005	足拭マツ	▲1.20*0.90	-1.08
006		(計)=	1	006		(計)=	19.14	006		(計)=	19.14
007		19.14 × 001倍計=	1	007		19.14 × 001倍計=	19.14	007		19.14 × 001倍計=	19.14
008				008				008			
009		床モルタル金コテ押え	t=20	009		床モルタル金コテ押え	t=20	009		床モルタル金コテ押え	t=20
010	足拭マツ	1.20*0.90		010	足拭マツ	1.20*0.90	1.08	010	足拭マツ	1.20*0.90	1.08
011		(計)=		011		(計)=	1.08	011		(計)=	1.08
012		1.08 × 001倍計=		012		1.08 × 001倍計=	1.08	012		1.08 × 001倍計=	1.08
013				013				013			
014				014				014			

行列カーソルを1段下げます。([↓]を押す。または14行目をクリックする。)

続けて[Enter]か14行目をダブルクリックします。画面右側に科目引出しが表示されます。

目的の細目は「金物工事」の「靴拭マット枠真鍮製」単位mです。「金物工事」を選びます。

床 巾木 壁 壁見切 天井				床 巾木 壁 壁見切 天井				「松助くん」付属マスタ			
No.	備考	細目/計算式	摘要/▲	No.	備考	細目/計算式	摘要/▲	No.003 金物工事			
001		床タイル下地モルタル	t=20	001		床タイル下地モルタル	t=20	No.	コード番号	細目名称	単位
002		床100角磁器タイル		002		床100角磁器タイル		001		床タイル靴拭きマット	ヶ所
003		3.25*5.58	1	003		3.25*5.58	18.14	002		床タイル目地棒・6mm	m
004		(1.25*3.33)/2		004		(1.25*3.33)/2	2.08	003		靴拭マット枠真鍮製	m
005	足拭マツ	▲1.20*0.90		005	足拭マツ	▲1.20*0.90	-1.08	004		排水溝グレーチング	枚
006		(計)=	1	006		(計)=	19.14	005			
007		19.14 × 001倍計=	1	007		19.14 × 001倍計=	19.14	006			
008				008				007			
009		床モルタル金コテ押え	t=20	009		床モルタル金コテ押え	t=20	008			
010	足拭マツ	1.20*0.90		010	足拭マツ	1.20*0.90	1.08	009			
011		(計)=		011		(計)=	1.08	010			
012		1.08 × 001倍計=		012		1.08 × 001倍計=	1.08	011			
013				013				012			
014				014				013			

「靴拭マット枠ステンレス」はありますが、「靴拭マット枠真鍮製」はありません。新規登録します。

「靴拭マット枠ステンレス」の下のに挿入します。003 靴拭マット枠真鍮製が藍色のままキーボードの

床 巾木 壁 壁見切 天井				床 巾木 壁 壁見切 天井				「松助くん」付属マスタ			
No.	備考	細目/計算式	摘要/▲	No.	備考	細目/計算式	摘要/▲	No.003 金物工事			
001		床タイル下地モルタル	t=20	001		床タイル下地モルタル	t=20	No.	コード番号	細目名称	単位
002		床100角磁器タイル		002		床100角磁器タイル		001		床タイル靴拭きマット	ヶ所
003		3.25*5.58	1	003		3.25*5.58	18.14	002		床タイル目地棒・6mm	m
004		(1.25*3.33)/2		004		(1.25*3.33)/2	2.08	003		靴拭マット枠真鍮製	m
005	足拭マツ	▲1.20*0.90		005	足拭マツ	▲1.20*0.90	-1.08	004		排水溝グレーチング	枚
006		(計)=	1	006		(計)=	19.14	005			
007		19.14 × 001倍計=	1	007		19.14 × 001倍計=	19.14	006			
008				008				007			
009		床モルタル金コテ押え	t=20	009		床モルタル金コテ押え	t=20	008			
010	足拭マツ	1.20*0.90		010	足拭マツ	1.20*0.90	1.08	009			
011		(計)=		011		(計)=	1.08	010			
012		1.08 × 001倍計=		012		1.08 × 001倍計=	1.08	011			
013				013				012			
014				014				013			

[INS]を押すか、画面下の[行挿入[INS]]をクリックします。

操作説明……仕上げ計算書その11

▲上に挿入↑・下に挿入↓▼ が表示されました。キーボードの矢印↑か↓を押します。マウスの場合
は黄色文字枠の左半分をクリックすると↑を、右半分クリックで↓キーを押したことになります。

仕上げ計算「松助くん」計算書入力 工事名[新規植草2000-02-141739-00]

参照:室No=001[玄関] 階:1F 室No[001]玄関 倍率×[001] 部屋タイプ/計算書印刷

No	備考	細目/計算式	摘要/▲
001		床タイル下地モルタル	t=20
002		床100角磁器タイル	
003		3.25×5.58	
004		(1.25×3.33)/2	
005	足拭マツ	▲1.20×0.90	
006		(計)=	
007		19.14 × 001倍計=	
008			

1032 1032

行14 | | INS=0

開ける[ESC] | 行挿入[INS] | 行削除[DEL]

今回は↓キーを押したことにします。行列カーソルが3行目にあります。↓で4行目に移します。

No	備考	細目/計算式	摘要/▲
001		床タイル下地モルタル	t=20
002		床100角磁器タイル	
003		3.25×5.58	
004		(1.25×3.33)/2	
005	足拭マツ	▲1.20×0.90	
006		(計)=	
007		19.14 × 001倍計=	
008			
009		床モルタル金コテ押え	t=20

No	備考	細目/計算式	摘要/▲
001		床タイル下地モルタル	
002		床100角磁器タイル	
003		3.25×5.58	
004		(1.25×3.33)/2	
005	足拭マツ	▲1.20×0.90	
006			
007		19.14	
008			

No	コード番号	細目名称	適用	単位
001		床タイル靴拭きマット		ヶ所
002		床タイル目地棒・6mm		m
003		靴拭マット枠タイル		m
004				
005		排水溝グレーチング		枚
006				

この状態でキーボードから内容編集→Eを押します。

No	備考	細目/計算式	摘要/▲
001		床タイル下地モルタル	t=20
002		床100角磁器タイル	
003		3.25×5.58	
004		(1.25×3.33)/2	
005	足拭マツ	▲1.20×0.90	
006		(計)=	
007		19.14 × 001倍計=	
008			

No	備考	細目/計算式	摘要/▲
001		床タイル下地モルタル	
002		床100角磁器タイル	
003		3.25×5.58	
004		(1.25×3.33)/2	
005	足拭マツ	▲1.20×0.90	
006			
007		19.14	
008			

No	コード番号	細目名称	適用	単位
001		床タイル靴拭きマット		ヶ所
002		床タイル目地棒・6mm		m
003		靴拭マット枠タイル		m
004				
005		排水溝グレーチング		枚
006				

行列カーソルが細目名称欄に表示されました。ここで[Enter]を押します。(行列カーソルクリックも可)

No	備考	細目/計算式	摘要/▲
001		床タイル下地モルタル	t=20
002		床100角磁器タイル	
003		3.25×5.58	
004		(1.25×3.33)/2	
005	足拭マツ	▲1.20×0.90	
006		(計)=	
007		19.14 × 001倍計=	
008			

No	備考	細目/計算式	摘要/▲
001		床タイル下地モルタル	
002		床100角磁器タイル	
003		3.25×5.58	
004		(1.25×3.33)/2	
005	足拭マツ	▲1.20×0.90	
006			
007		19.14	
008			

No	コード番号	細目名称	適用	単位
001		床タイル靴拭きマット		ヶ所
002		床タイル目地棒・6mm		m
003		靴拭マット枠タイル		m
004				
005		排水溝グレーチング		枚
006				

細目入力用のコンボ Box が表示されました。このまま↑↓キーを押すと現在登録してある金物工事の床の細目が切り替わり表示されます。文字を入力しても良いですが、▼をクリックしてみます。

No	備考	細目/計算式	摘要/▲
001		床タイル下地モルタル	t=20
002		床100角磁器タイル	
003		3.25×5.58	
004		(1.25×3.33)/2	
005	足拭マツ	▲1.20×0.90	
006		(計)=	
007		19.14 × 001倍計=	
008			

No	備考	細目/計算式	摘要/▲
001		床タイル下地モルタル	
002		床100角磁器タイル	
003		3.25×5.58	
004		(1.25×3.33)/2	
005	足拭マツ	▲1.20×0.90	
006			
007		19.14	
008			

No	コード番号	細目名称	適用	単位
001		床タイル靴拭きマット		ヶ所
002		床タイル目地棒・6mm		m
003		靴拭マット枠タイル		m
004				
005		排水溝グレーチング		枚
006				

ドロップダウンリストが表示されました。このリストから靴拭マット枠タイルを選びます。

No	備考	細目/計算式	摘要/▲
006		(計)=	
007		19.14 × 001倍計=	
008			
009		床モルタル金コテ押え	t=20
010	足拭マツ	1.20×0.90	
011		(計)=	
012		1.00 × 001倍計=	

No	備考	細目/計算式	摘要/▲
006	足拭マツ	▲1.20×0.90	
007		19.14	
008			
009		床モルタル金コテ押え	
010	足拭マツ	1.20×0.90	

No	コード番号	細目名称	適用	単位
004		床タイル靴拭きマット		枚
005		床タイル目地棒・6mm		m
006		靴拭マット枠タイル		m
007		排水溝グレーチング		枚
008				

操作説明……仕上げ計算書その12

コンボ Box が現れ、靴拭マット枠ステンスが「選択状態」で表示されています。ここでキー操作に注意！！

このまま [BkSp] か [Delete] を押すと消えてしまいます。(消えても↑↓キーで復活できます)

→キーか、靴拭マット枠ステンスをクリックすると選択状態が解除されます。その後 [] を [BkSp]

No.	備考	細目/計算式	摘要/	No.	備考	細目/計算式	摘要/	No.	コード番号	細目名称	適用	単位
001		床タイル下地モルタル	t=20	001		床タイル下地モルタル		001		床ステンス靴拭きマット		ヶ所
002		床100角磁器タイル		002		床100角磁器タイル		002		床ステンス目地棒・6mm		m
003		3.25*5.58	1	003		3.25*5.58		003		靴拭マット枠ステンス		m
004		(1.25*3.33)/2		004		(1.25*3.33)/2		004		靴拭マット枠ステンス		m
005		足拭マット	△1.20*0.90	005		足拭マット	△1.20*0.90	005		掛合用シーレーンソ		枚
006		(計)=		006				006				
007		19.14 × 001倍計=	1	007		19.14						
008												
009		床モルタル金コテ押え	t=20	009								

か [Delete] でステンスの文字を削除します。

文字『ト枠』の右側に「真鍮製」の文字を加えます。靴拭マット枠真鍮製の文字ができれば [Enter]

コンボ Box が消え、行列カーソルが摘要欄に移りました。靴拭マット枠真鍮製

今回は摘要欄には何も入れません。そのまま、→キーで単位の欄で [Enter] or ダブルクリックします。

単位の欄にコンボ Box が表示されます。単位は m です。細目データの登録は「細目名称」と「単位」

は必要不可欠です。ここでは単位の欄に m を登録したらキーボードの [E] を押してください。

今回は細目マスターデータの項目のうち「細目データ」と「単位」の欄だけ登録しました。下はすべての項目が登録された場合の細目マ

スターデータです。コード番号と摘要欄にもデータが書かれています。細目は全角 14 文字 (半角 28 文字)、摘要は全角 4 文字 (半角 8

No.	備考	細目/計算式	摘要/	No.	備考	細目/計算式	摘要/	No.	コード番号	細目名称	適用	単位
001				001				001	11 011	床磁器質施ゆうタイル100mm角	材工共	m2
002				002				002	11 012	床磁器質施ゆうタイル150mm角	材工共	m2
003				003				003	11 013	床磁器質無ゆうタイル100mm角	材工共	m2
004				004				004	11 014	床磁器質無ゆうタイル150mm角	材工共	m2
005				005				005	11 015	床磁器エントタイル施ゆう100mm角	材工共	m2
006				006				006	11 016	床磁器エントタイル無ゆう100mm角	材工共	m2
007				007				007	11 101	床磁器エントタイル施ゆう50mm角	材工共	m2
008				008				008	11 102	床磁器エントタイル施ゆう50mm角	材工共	m2

文字) 入力できますがにどんな文字列を入力するかは自由です。コード番号は、本来、本仕上げ積算では必要ないのですが、本仕上げ

システムが出力する集計表を元に、他社の内訳明細書システムを使う場合コード番号が表示されていると便利なが多いので登録で

きるようにしてあります。また、マスター編集集中に気付かれた方もいると思いますが、細目データでは「単価」「属性」「根拠」の項目

No.	備考	細目/計算式	摘要/	No.	備考	細目/計算式	摘要/	No.	適用	単位	単価	属性	根拠
001				001				001	材工共	m2	11200	F	鹿建-41
002				002				002	材工共	m2	11500	F	鹿建-41
003				003				003	材工共	m2	10800	F	鹿建-41
004				004				004	材工共	m2	10800	F	鹿建-41
005				005				005	材工共	m2	10700		鹿建-41

を入力することもできます。「単価」「属性」「根拠」は本システムで次期に開発する「実行連動内訳書」というシステム用に入力するデ

ータです。現在は「単価」「属性」「根拠」のデータは入力する必要はありません。

いろいろ細かくご説明してまいりましたが、仕上げ計算書の説明を終了します。次に巾木に移る場合は

[巾木タブ] をクリックします。この操作はマウスで行います。

参照: 室No.001[玄関]				階: 1F	室No.[001]玄関	倍率: ×001	部屋名/計算書印刷	
床				巾木	壁	壁見切	天井	
No.	備考	細目/計算式	摘要/単位	No.	備考	細目/計算式	摘要/単位	
001		床タイル下地モルタル	t=20	001		床タイル下地モルタル	t=20	m2
002		床100角磁器タイル		002		床100角磁器タイル		m2
003		3.25*5.58	1	003		3.25*5.58	18.14	

なお、階名、部屋名、倍数の入力・変更は床画面のときだけ有効です。

操作説明……仕上げ計算書その13

床～天井のを切り替えは「タブ」をクリックでしたが、他にこのボタンをクリックする方法もあります。

The screenshot shows the software interface with a 'Tab' button highlighted. The interface includes fields for '参照: 室No.=001[従業員休憩室]', '階: 1F', '室No.[001]従業員休憩室', and '倍数×1'. Below these are tabs for '床' (Floor), '巾木' (Baseboard), '壁' (Wall), '壁見切' (Wall Trim), and '天井' (Ceiling). The '床' tab is currently selected.

この画面では、部屋・部位の移動のほかに、印刷、データコピー・移動、部屋の挿入などができます。

The screenshot shows the software interface with the '部屋ジャンプ' (Room Jump) button highlighted. Below the button is a list of rooms with columns for '室No.' (Room No.), '階' (Floor), '部屋名' (Room Name), '倍数' (Multiplier), and '床' (Floor). The list includes rooms like '従業員休憩室', '廊下', '応接室', '事務室', '資材庫', '図書室', '教室A', '特別教室', '床下ビット', '脱衣室', '茶室', '茶室2', '看護婦詰所', '音楽室', '普通教室', and '特別教室'.

- ①部屋のその部位にデータがあれば◎が表示されます。
- ②キーボードでの部屋の切り替えは、矢印キーでカーソル移動の後[Enter]とします。
- ③マウスではクリックでその位置にカーソル移動、ダブルクリックで切り替えます。
- ④閉じる、行挿入、行削除、行移動、部位コピーは、キーボード操作では[ESC][Insert][Delete][M][C]を、マウスでは命令のボタンをクリックするのですが、最初にカーソルで位置決めをしてから命令のキーを押すか、クリックします。
- ⑤行移動は床～天井までの全部位データを指示の行へ移動します。
- ⑥部位コピーは、その部位の細目・計算式を含む全データをコピーしますが、上下方向でしかコピーできません。床のデータを天井にコピーはできないようにしています。

参照画面切り替えはこのボタンをクリックします。

The screenshot shows the software interface with the '参照画面切り替え' (Switch Reference Screen) button highlighted. The interface includes fields for '参照: 室No.=001[従業員休憩室]', '階: 1F', '室No.[001]従業員休憩室', and '倍数×1'. Below these are tabs for '床' (Floor), '巾木' (Baseboard), '壁' (Wall), '壁見切' (Wall Trim), and '天井' (Ceiling). The '床' tab is currently selected.

The screenshot shows the software interface with the '新規' (New) button highlighted. Below the button is a list of rooms with columns for '室No.' (Room No.), '階' (Floor), '部屋名' (Room Name), '倍数' (Multiplier), and '床' (Floor). The list includes rooms like '従業員休憩室', '廊下', '応接室', '事務室', '資材庫', '図書室', '教室A', '特別教室', '床下ビット', '脱衣室', '茶室', '茶室2', '看護婦詰所', '音楽室', '普通教室', and '特別教室'.

新規で第1番目の部屋の部位を積算する場合、参照画面には同じ画面が連動して表示されます。メインの計算書画面が他の部位や部屋に移ったとき、参照画面はそのままです。参考にした部位や部屋への切り替えは手動で行います。

操作説明……仕上げ計算書その14

参照画面からは計算式しかコピーできません。細目データをコピーしたい場合はここをクリックします。

仕上積算「松助くん」計算書入力 工事名[3階建て事務所新築工事]

参照: 室No-001[従業員休憩室] 階: 1F 室No[001]従業員休憩室 倍率×1 部屋「001」/計算書印刷

No	備考	細目/計算式	挿入/▲
001		床150角磁器タイル	
002		2.96*3.25	
003		5.75*4.25	2
004		-1.50*4.25	
005		(計)=	2
006		25.69 ×001倍計=	2
007			
008		床下地・荒板貼り	手間/人
009		床100角磁器タイル	
010	456	1.50*4.25	
011		(計)=	
012		6.39 ×1倍計=	
013			
014			
015			
016		床モルタル金コテ押え	t=20
017		タイルカーペット	
018		1.32*6.375	
019		2.23*3.33	
020		268.24-32.25	23
021		5.75*3.85	2
022		(計)=	27
023		272.11 ×001倍計=	27
024			
025		床フローリング剥ぎ取り	下地共
026		床モルタル金コテ押え	t=20
027		フクビソフトタイル	T=2mm
028		2.35*3.25	3
029		1.11	
030		▲ 2.58*3.256	-
031		(計)=	2
032		23.85 ×001倍計=	2
033			
034		モザイクフロア接着	仕上マシ
035		床塩ビ樹脂系珪藻土	
036		▲ 2.35*3.25	-
037			

行63 | INS=0 閉じる[ESC] 行挿入[INS] 行削除[DEL] 積層細目凡例表示

前に入力した積層細目データがブロックごとにまとめられて表示されます。

仕上積算「松助くん」計算書入力 工事名[3階建て事務所新築工事]

参照: 室No-001[従業員休憩室] 階: 1F 室No[001]従業員休憩室 倍率×1 部屋「001」/計算書印刷

クリックで全積層細目を採用。

No	備考	細目
001		床150角磁器タイル
002		2.96*3.25
003		5.75*4.25
004		-1.50*4.25
005		(計)=
006		25.69 ×001倍計=
007		
008		床下地・荒板貼り
009		床100角磁器タイル
010	456	1.50*4.25
011		(計)=
012		6.39 ×1倍計=
013		
014		
015		
016		床モルタル金コテ押え
017		タイルカーペット
018		1.32*6.375
019		2.23*3.33
020		268.24-32.25
021		5.75*3.85
022		(計)=
023		272.11 ×001倍計=
024		
025		床フローリング剥ぎ取り
026		床モルタル金コテ押え
027		フクビソフトタイル
028		2.35*3.25
029		1.11
030		▲ 2.58*3.256
031		(計)=
032		23.85 ×001倍計=
033		
034		モザイクフロア接着
035		床塩ビ樹脂系珪藻土
036		▲ 2.35*3.25
037		

部屋No001[従業員休憩室]
 タイル工事 床150角磁器タイル () m2
 部屋No002[廊下]
 木工事 床下地・荒板貼り (手間/人) m2
 タイル工事 床100角磁器タイル () m2
 部屋No003[応接室]
 左官工事 床モルタル金コテ押え (t=20) m2
 インテリア内装工事 タイルカーペット () m2
 部屋No006[図書室]
 解体工事 床フローリング剥ぎ取り (下地共) m2
 左官工事 床モルタル金コテ押え (t=20) m2
 インテリア内装工事 フクビソフトタイル (T=2mm) m2
 部屋No010[脱衣室]
 内装工事(材工) モザイクフロア接着 (仕上マシ) m2
 塗装工事 床塩ビ樹脂系珪藻土 () m2
 部屋No010[脱衣室]
 左官工事 床モルタル金コテ押え (t=30) m2
 部屋No016[音楽室]
 左官工事 床防水下均しモルタル (t=20) m2
 部屋No016[音楽室]
 タイル工事 床50角モザイクタイル () m2
 左官工事 床モルタル金コテ押え (t=25) m2
 内装工事(材工) モザイクフロア接着 (仕上マシ) m2
 塗装工事 床クリアラッカー塗り () m2
 部屋No006[図書室]
 左官工事 床モルタル金コテ押え (t=15) m2
 内装工事(材工) フロアバーケット接着 (仕上マシ) m2
 鉄筋工事 床ワイヤメッシュ (Ø150) m2
 部屋No007[教室A]
 閉じる[ESC]

行63 | INS=0 閉じる[ESC] 行挿入[INS] 行削除[DEL] 積層細目凡例表示

表示された積層ブロックをクリックすると、そのままの積層細目として計算書に登録されます。仕上げ下地～表面処理まの細目データが前の部屋と同じ場合はこの機能が有効です。

操作説明……仕上げ集計表その1



メインメニューの仕上げ集計表をクリックすると1次集計表が表示されます。

1次集計表は床～天井の各部位に分かれて出力されます。

仕上積算「松助くん」集計表 工事名[3階建て事務所新築工事]

閉じる[ESC]

床～天井印刷

2次集計へ

統合終了

床

巾木

壁

壁見切

天井

床だけ印刷

仕上No→	005	006	007	008	009	010	011	012	
CODE→									
実行科目	軽量鉄骨下 地工事	金物工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事
細目	リバーシ鋼 製床下地	靴拭マット 枠スプルス	床コンクリ ート金コテ 押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床防水下均 しモルタル	床防水下均 しモルタル
摘要			金コテ1回	t=15	t=20	t=25	t=30	t=15	
単位	m2	m	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
統合値									
室階	室名 / 合計	138.99	17.20	20.31	538.13	424.66	114.10	6.99	7.61
001	1F 従業員休憩室				3.25	295.96	10.56	6.99	
002	1F 下				23.24				
003	1F 接室				36.50				
004	1F 接室					44.17			
005	1F 接室				35.62				
006	1F 接室				52.94				
007	1F 接室A					51.77			
008	1F 別教室						51.77		
009	1F トビット								7.61
010	1F 接室				5.63	16.98			
011	1F 接室								
012	1F 接室								
013	1F 接室2								
014	1F 接室								
015	1F 接室				24.37				
016	1F 接室	138.99							
017	2F 通教室		4.30		72.77				
018	2F 通教室		4.30		72.77				
019	2F 通教室		4.30		72.77				
020	1F 別教室						51.77		
021	1F 接室				36.50				
022	2F 通教室		4.30		72.77				
023	1F 接室				24.37				
024	1F 接室				5.63	16.98			

ここで「統合値」について説明します。上表で「モルタル金コテ押さえ」がt=??別に4種類表示されていることに注意して下さい。この床モルタル金コテ押さえの合計値をマウスクリックします。

床		巾木		壁		壁見切		天井	
床だけ印刷									
仕上No→	005	006	007	008	009	010	011	012	▲
CODE→									
実行科目	軽量鉄骨下 地工事	金物工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事
細目	リバーシ鋼 製床下地	靴拭マット 枠スプルス	床コンクリ ート金コテ 押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床防水下均 しモルタル	床防水下均 しモルタル
摘要			金コテ1回	t=15	t=20	t=25	t=30	t=15	
単位	m2	m	m2	m2	m2	m2	m2	m2	
統合値									
室階	室名 / 合計	138.99	17.20	20.31	538.13	424.66	114.10	6.99	7.61
001	従業員休憩室				3.25	295.96	10.56	6.99	

操作説明……仕上げ集計表その2

仕上No→	005	006	007	008	009	010	011	012	
CODE→									
実行科目	軽量鉄骨下 地工事	金物工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事
細目	20-ベース鋼 製床下地	靴拭マット 枠スルス	床コンクリ ート金コテ 押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床防水下均 しモルタル	床防水下均 しモルタル
摘要			金コテ1回	t=15	t=20	t=25	t=30	t=15	t=15
単位	m2	m	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
統合値				◎					
室階	001	001	001	001	001	001	001	001	001
室名	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室
合計	138.99	17.20	20.31	539.19	424.66	114.10	6.99	7.61	
				2.25	295.96	10.56	6.99		

床モルタル金コテ押え t=15 の 統合値欄に◎が表示されました。「親分が決まった」というところです。

仕上No→	005	006	007	008	009	010	011	012	
CODE→									
実行科目	軽量鉄骨下 地工事	金物工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事
細目	20-ベース鋼 製床下地	靴拭マット 枠スルス	床コンクリ ート金コテ 押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床防水下均 しモルタル	床防水下均 しモルタル
摘要			金コテ1回	t=15	t=20	t=25	t=30	t=15	t=15
単位	m2	m	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
統合値				◎	○				
室階	001	001	001	001	001	001	001	001	001
室名	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室
合計	138.99	17.20	20.31	539.19	424.66	114.10	6.99	7.61	
				2.25	295.96	10.56	6.99		

次に右隣の床モルタル金コテ押え t=20 をクリックすると○が表示されます。「子分1決定」です。

仕上No→	005	006	007	008	009	010	011	012	
CODE→									
実行科目	軽量鉄骨下 地工事	金物工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事
細目	20-ベース鋼 製床下地	靴拭マット 枠スルス	床コンクリ ート金コテ 押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床防水下均 しモルタル	床防水下均 しモルタル
摘要			金コテ1回	t=15	t=20	t=25	t=30	t=15	t=15
単位	m2	m	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
統合値				◎	○		○		
室階	001	001	001	001	001	001	001	001	001
室名	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室
合計	138.99	17.20	20.31	539.19	424.66	114.10	6.99	7.61	
				2.25	295.96	10.56	6.99		

次に1つ飛び越えて床モルタル金コテ押え t=30 をクリックします。「子分2決定」です。

ここで統合終了ボタンをクリックします。

仕上積算「松助くん」集計表 工事名[3階建て事務所新築工事]				
閉じる[ESC]	床～天井 印刷	2次集計へ	統合終了	
床	巾木	壁	壁見切	天井
床だけ印刷				
仕上No→	005	006	007	008
CODE→				

下のように床モルタル金コテ押えの t=15、t=20、t=30 が統合されて t=15 の欄に表示されています。
t=20、t=30 欄には「008←」が表示され、「この数値が8番目に移った」ことを表しています。

仕上No→	005	006	007	008	009	010	011	012	
CODE→									
実行科目	軽量鉄骨下 地工事	金物工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事	左官工事
細目	20-ベース鋼 製床下地	靴拭マット 枠スルス	床コンクリ ート金コテ 押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床モルタル 金コテ押え	床防水下均 しモルタル	床防水下均 しモルタル
摘要			金コテ1回	t=15	t=20	t=25	t=30	t=15	t=15
単位	m2	m	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
統合値				970.78	008←		008←		
室階	001	001	001	001	001	001	001	001	001
室名	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室	従業員休憩室
合計	138.99	17.20	20.31	539.19	424.66	114.10	6.99	7.61	
				2.25	295.96	10.56	6.99		

ここでの操作、あるいは操作の結果はシステム上記憶されません。メインメニューに戻ると消えます。

操作説明……仕上げ集計表その3

次に「2次集計へ」をクリックします。

仕上積算「松助くん」集計表 工事名[③階建て事務所新築工事]

閉じる[ESC] 床～天井印刷 2次集計へ 統合終了

床 巾木 壁 壁見切 天井

床だけ印刷

仕上げNo→ 005 006 007 008 009 010 011 012

工事科目変更をクリックし、「左官工事」を選びます

仕上積算「松助くん」集計表 工事名[③階建て事務所新築工事]

閉じる[ESC] 全科目印刷 1次集計へ

科目別2次集計解体工事 この科目だけ印刷 工事科目変更

No	コード	部位	細目名称	摘要	単位	1次計	変換式	新単位	変換後数値	移動先	経過計算式	2次集計値
001		床	床フローリング剥ぎ取り	下地共	m2	23.85		m2				23.85

床～天井までの左官工事の細目が表示されました。カーソルを巾木モルタル H=100 に移動し [Enter]

仕上積算「松助くん」集計表 工事名[③階建て事務所新築工事]

閉じる[ESC] 全科目印刷 1次集計へ

科目別2次集計左官工事 この科目だけ印刷 工事科目変更

No	コード	部位	細目名称	摘要	単位	1次計	変換式	新単位	変換後数値	移動先	経過計算式	2次集計値
001		床	床コンクリート金コテ押え	金コテ1回	m2	20.31						20.31
002		床	床モルタル金コテ押え	t=15	m2	970.78						970.78
003		床	床モルタル金コテ押え	t=25	m2	114.10						114.10
004		床	床防水下均しモルタル	t=15	m2	7.61						7.61
005		床	床防水下均しモルタル	t=20	m2	7.31						7.31
006		床	床防水押えモルタル	t=20	m2	7.61						7.61
007		床	床入造石貼入モルタル	t=30	m2	431.60						431.60
008		巾木	巾木モルタル・「	H=70	m	50.20						50.20
009		巾木	巾木モルタル・「	H=100	m	127.69						127.69
010		巾木	巾木モルタル・「	H=120	m	14.10						14.10
011		巾木	巾木モルタル・「目地別れ	H=	m	31.60						31.60
012		巾木	柱巾木モルタル・「目地別れ	H=	m	12.30						12.30
013		巾木	ボーターモルタル仕上げ		m	13.90						13.90
014		壁	壁モルタル金コテ	T=	m2	829.58						829.58
015		壁	壁タイル下地モルタル	T=	m2	38.45						38.45
016		壁	柱型モルタル金コテ	T=	m2	8.22						8.22
017		壁	壁コンクリート打放し補修	T=	m2	179.80						179.80
018		壁見切	面台入研	H=	m	54.90						54.90
019		壁見切	建具廻りモルタル充填		m	108.20						108.20
020		壁見切	建具廻りモルタル充填	防水材入	m	521.20						521.20
021		天井	梁型モルタル金コテ		m2	53.66						53.66
022		天井	梁型モルタル刷毛引		m2	13.81						13.81
023		天井	梁型ラスモルタル金コテ		m2	24.80						24.80

とします。変換式の欄に 127.69 * 0.1 と表示されます。これは自動的に作成した計算式です。手動で変更してもいいですが、このまま [Enter] を押します。変換後数値の欄に計算値 12.77 が表示され、新単位の欄にコンボ Box が表示されます。

m	127.69	127.69*0.1		12.77
m	14.10			

新単位を m2 とします。新単位入力のあとカーソルが「移動先」欄に移ります。↓キーで「壁モルタル金コテ」の欄まで下げ、[Enter] とします。下のように表示されます。

009	巾木	巾木モルタル・「	H=100	m	127.69	127.69*0.1	m2	12.77	↓014	0.00
010	巾木	巾木モルタル・「	H=120	m	14.10					14.10
011	巾木	巾木モルタル・「目地別れ	H=	m	31.60					31.60
012	巾木	柱巾木モルタル・「目地別れ	H=	m	12.30					12.30
013	巾木	ボーターモルタル仕上げ		m	13.90					13.90
014	壁	壁モルタル金コテ	T=	m2	829.58				(014) 829.58	842.35
015	壁	壁タイル下地モルタル	T=	m2	38.45				(009) 12.77	38.45

009 行目の 127.69m2 が結果的に 0.00 になり、その数値が 14 行目に移ったことや、14 行目の数値が 9 行目の数値を合わせて 842.35 になったことが表現されています。

今回 127.69*0.01 は自動的に作製されましたが、ここを手動で 57.69*0.01 と書きなおすと、9 行目の右端数値は 50 が残ります。